

水質調査地点図(河川)

「37長谷橋」「38同心橋」は、太田川水系の水をきれいにする会で調査し、データ提供を受ける

【掛川】

- 1 山の神橋
- 2 原谷橋
- 3 権現橋
- 4 森平橋
- 5 岡津橋
- 6 善光寺橋
- 7 菅沢橋
- 8 逆川橋
- 9 大手橋
- 10 八幡橋
- 11 山崎橋
- 12 大池橋
- 13 中村橋
- 14 第一満水橋
- 15 田島橋
- 35 落合橋
- 36 栃原橋

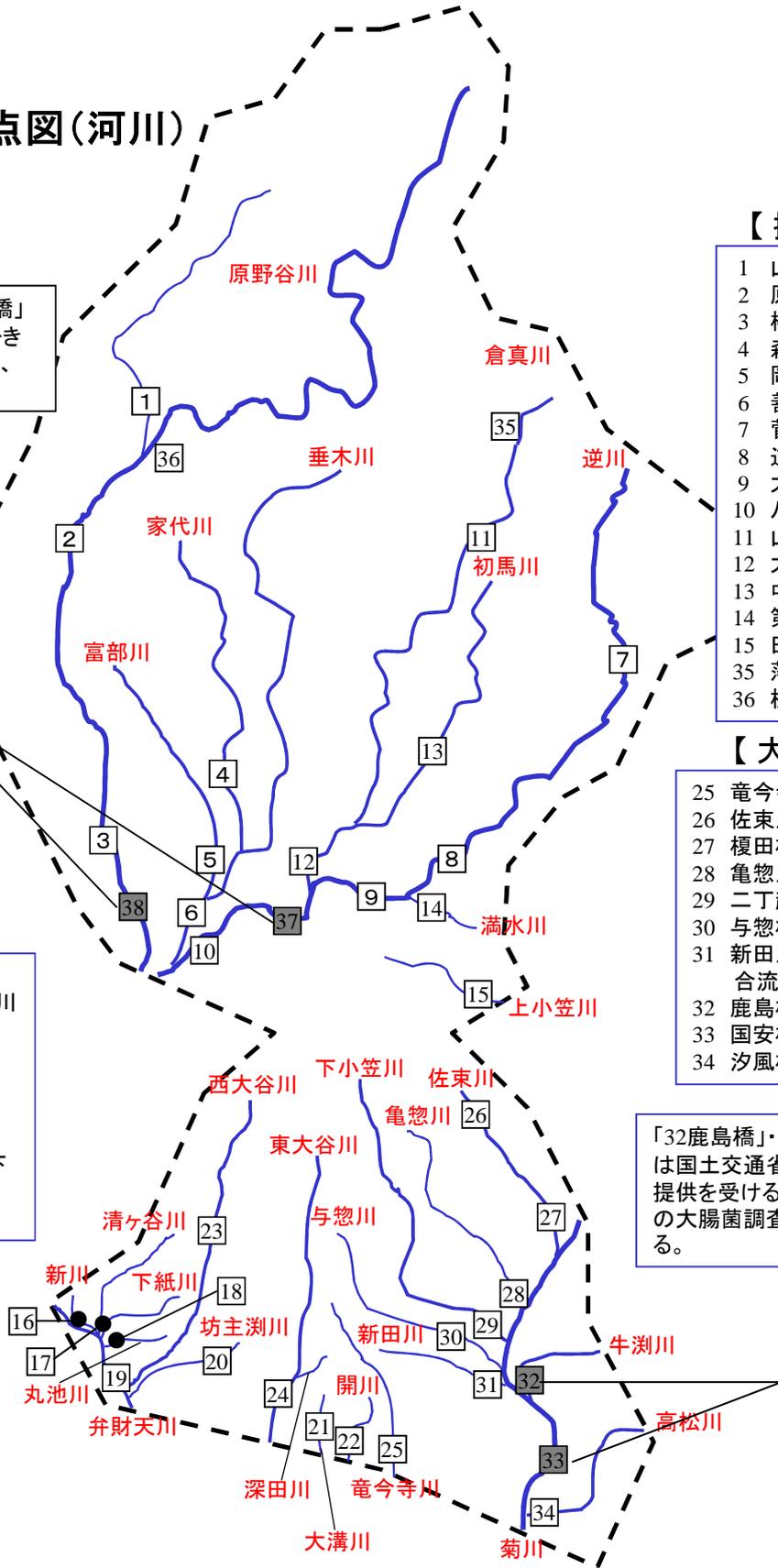
【大東】

- 25 竜今寺1号橋
- 26 佐東川橋
- 27 榎田橋
- 28 亀惣川橋
- 29 二丁越橋
- 30 与惣橋
- 31 新田川・菊川合流地点
- 32 鹿島橋
- 33 国安橋
- 34 汐風橋

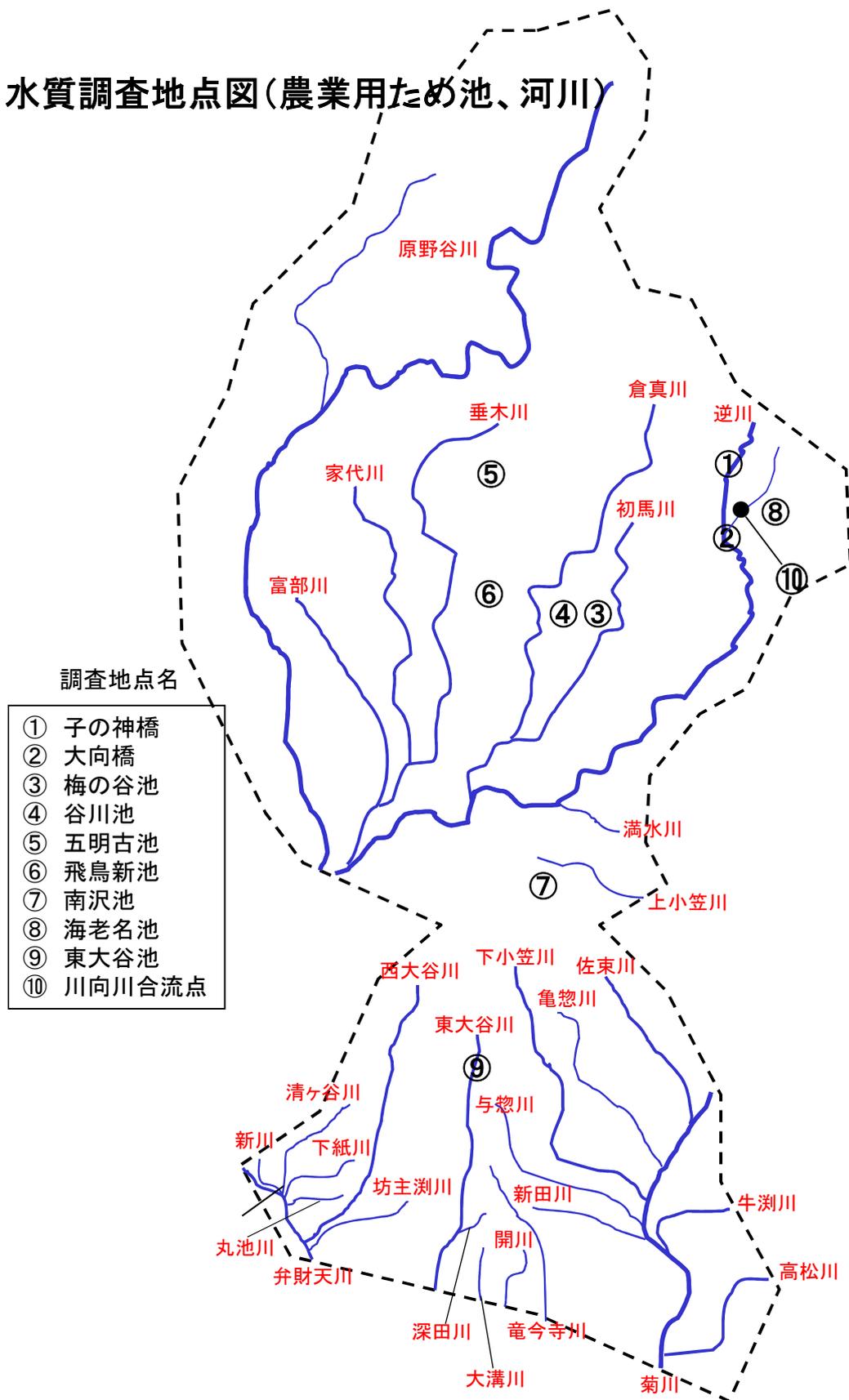
「32鹿島橋」「33国安橋」は国土交通省よりデータ提供を受ける。「国安橋」の大腸菌調査のみ委託する。

【大須賀】

- 16 新川橋
- 17 下紙川・弁財天川合流地点
- 18 丸池橋
- 19 今沢橋
- 20 坊主渚橋
- 21 大溝川水門
- 22 開川自転車道下
- 23 調練橋上流
- 24 東大谷川橋



水質調査地点図(農業用ため池、河川)



掛川市の水質概況

掛川市の河川は、315河川418kmに渡ります。このうち市では、主要27河川の35地点で調査を行っています。調査項目は、流量や透視度といった河川の概況の他、河川汚濁の指標としてよく用いられるBODをはじめとする生活環境項目、窒素・磷などの富栄養化項目、金属関係項目、そして、水銀やヒ素などの健康保護に関する項目の大きく分けて5種類です。

また、主要河川の他、肥料による水質への影響を調べるため、農業用ため池及び河川8地点においても水質調査を行っています。

市内河川のうち、望ましいとされる基準「環境基準」が設定されているのは、原野谷川（A類型）逆川（鞍下橋から上流がA類型、下流がC類型）、牛淵川（B類型）、菊川（下流B類型）の4河川で、調査項目ごとに環境基準で定める基準値を指標として、汚濁度や通年、経年の変化を監視しています。環境基準が設定されていない河川については、合流先河川の環境基準値を参考として状況を把握しています。

項目、水系ごとの平成24年度水質測定結果のまとめは以下のとおりです。

1 生活環境項目（pH、SS、COD、BOD、DO）

一般的な河川汚濁度を調査するため、年4回27河川35地点で調査を行っています。

（1）掛川区域

①原野谷川水系〔河川A類型：原谷橋、権現橋、栃原橋 類型設定無：山の神橋〕

pHが、原谷橋で5月期に8.7及び11月期に8.6、権現橋で5月期に8.7と高く、河川A類型の環境基準の上限値（8.5）を上回っています。浮遊藻類（植物プランクトン）及び河床付着藻類の増殖による影響と考えられます。その他の項目は、年間を通じて環境基準を満足しています。

年間評価値（水素イオン濃度〔pH〕、浮遊物質〔SS〕、溶存酸素量〔DO〕は年間平均値、生物化学的酸素要求量〔BOD〕は75%値）は、4地点とも環境基準を満足しています。

②逆川水系〔河川A類型：菅沢橋 河川C類型：逆川橋、大手橋、八幡橋〕

逆川の河川類型の設定は、鞍下橋の上流側が河川A類型、下流側が河川C類型であり、菅沢橋は河川A類型、逆川橋以下は河川C類型です。

pHは、8月期の大手橋が8.9と環境基準の上限値（8.5）を上回っています。河川水の流れが少なく、栄養塩の流入があり、晴天が続いたことで藻類が増殖したことが原因と思われます。その他の項目は河川C類型の環境基準を満足しています。菅沢橋は、全ての項目が河川A類型の環境基準を満足しています。

年間評価値は、全ての地点で環境基準を満足しています。

③垂木川水系〔類型設定無：森平橋、岡津橋、善光寺橋〕

森平橋、岡津橋及び善光寺橋の3地点は、環境基準の類型の設定はありません。合流先の逆川に設定されている河川C類型を参考に評価します。

pHが、5月期の岡津橋では8.8と環境基準の上限値（8.5）上回っています。河川堰等により水の流れが少なくなっているため、藻類（植物プランクトン）が増殖しやすいことが原因と考えられます。

その他の項目は環境基準を満足しています。

年間評価値は、全ての項目が環境基準を満足しています。

④倉真川（初馬川）水系〔類型設定無：山崎橋、大池橋、中村橋、落合橋〕

山崎橋、大池橋、中村橋及び落合橋には、環境基準の類型の設定はありません。合流先の逆川に設定されている河川C類型を参考に評価します。

pHが、2月期の山崎橋において8.6となっており環境基準の上限値（8.5）を上回っています。河川の流れが少なく、河床に増殖した藻類が原因と思われます。その他の項目については、環境基準を満足しています。

年間評価値は、全ての項目が環境基準を満足しています。

⑤上小笠川水系[類型設定無：田島橋]

田島橋は、環境基準の類型の設定はありません。合流先の菊川に設定されている河川A類型を参考に評価します。全ての項目が環境基準を満足しています。

年間評価値も同様に、全ての項目が環境基準を満足しています。

⑥満水川水系[類型設定無：第一満水橋]

第一満水橋については、環境基準の類型の設定はありません。合流先の逆川に設定されている河川C類型を参考に評価します。

pH が年間を通じて、環境基準の上限値（8.5）を上回っています。満水川は堰などにより河川の流れが停滞しているところが多く、また水深が浅く光が河床まで届くことから付着藻類が増殖しやすい環境となっていることが原因と考えられます。その他の項目については、環境基準を満足しています。

年間評価値は、pH が9.2 と環境基準の上限値（8.5）を上回っています。その他の調査項目は環境基準を満足しています。

(2) 大須賀地区

①弁財天川水系[類型設定無：新川橋、下紙川弁財天川合流地点上流、丸池橋、今沢橋]

新川、下紙川、丸池川は弁財天川と合流する為、弁財天川水系として評価します。

新川橋、下紙川弁財天川合流地点上流、丸池橋、今沢橋の4 地点は、pH については全ての調査月が6.5以上8.5以下となっています。SS は、新川橋が5月期に27mg/L 及び2月期に26mg/L、今沢橋では5 月期に58mg/L、11月期に23mg/L 検出しており、やや高い結果です。5月期に浮遊物質が高くなる原因は、水田からの粘土を含んだ排水の流入が原因と考えられます。BOD は、全ての結果が良好な状態です。DO は、全ての結果が5mg/L以上です。

年間評価値は、SS が今沢橋27mg/L とやや高い結果です。その他の調査項目は良好な状態です。

②坊主淵川水系[類型設定無：坊主淵橋]

坊主淵橋は、全ての項目が一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

③大溝川水系[類型設定無：大溝川水門]

大溝川水門は、全ての項目が一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

④開川水系[類型設定無：開川自転車道下]

開川自転車道下は、SS が年間を通じて16mg/L 以上検出しており、SS 分が、定常的に河川に流入しています。BOD は2月期に高く17mg/L 検出しています。事業所排水の影響と考えられます。DO は年間を通じて5mg/L 以上です。

年間評価値は、SS が23mg/L、BOD が9.3mg/L とやや高い結果です。その他の調査項目は良好な状態です。

⑤西大谷川水系[類型設定無：調練橋上流]

調練橋上流は、全ての項目が一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

⑥東大谷川水系[類型設定無：東大谷川橋]

東大谷川橋は、DO が7.5mg/L 以下であり、旧大須賀地区の他の水系と比較しますと低い状態です。また、BOD は5月期に4.9mg/L 検出しておりやや高くなっています。農業排水及び事業所排水の影響と考えられます。東大谷川本川の上流域（河口から1.5km以上）は、1年を通して河川水

自体が存在しないことから、東大谷川橋付近の河川水は、東大谷川橋上流で合流する深田川の水が主となっています。

年間評価値については、D0 が7.0mg/L であり、やや低い状態です。その他の調査項目は良好な状態です。

(3) 大東地区

①竜今寺川水系[類型設定無：竜今寺1号橋]

竜今寺1号橋は、D0 が5月期に6.8mg/L、8月期に7.3mg/L であり、7.5mg/L 以下となっています。旧大東地区の他の水系と比較しますと低い状態です。河川水中に鉄分が多く、酸素を消費している可能性があります。その他の項目は一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

②佐束川水系[類型設定無：佐束川橋、榎田橋]

榎田橋は、SS が8月期に22 mg/L 検出しており、やや高くなっています。その他の項目は、年間を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

③亀惣川水系[類型設定無：亀惣川橋]

亀惣川橋は、5月期にpH が8.5 であり、やや高くなっています。その他の項目は一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

④下小笠川水系[類型設定無：二丁越橋]

二丁越橋は、全ての項目が一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

⑤与惣川水系[類型設定無：与惣橋]

与惣川橋は、SS が5月期に23mg/L 検出しています。水田からの粘土を含んだ排水の流入が原因と考えられます。その他の項目は年間を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

⑥新田川水系[類型設定無：新田川下流]

新田川下流は、pH が5月期に9.1、8月期に9.6 及び11月期に8.9 と高い結果です。河川流量が少なく、堰などにより流れが少ない為に、付着藻類や植物プランクトンの炭酸同化作用によって高くなったものと考えられます。その他の項目は良好な状態です。

年間評価値については、pH が8.9 と高いです。他の調査項目については良好な状態です。

⑦高松川水系[類型設定無：汐風橋]

汐風橋は、全ての項目が一年を通じて良好な状態です。

年間評価値については、全ての調査項目が良好な状態です。

生活環境の保全に関する環境基準（河川）

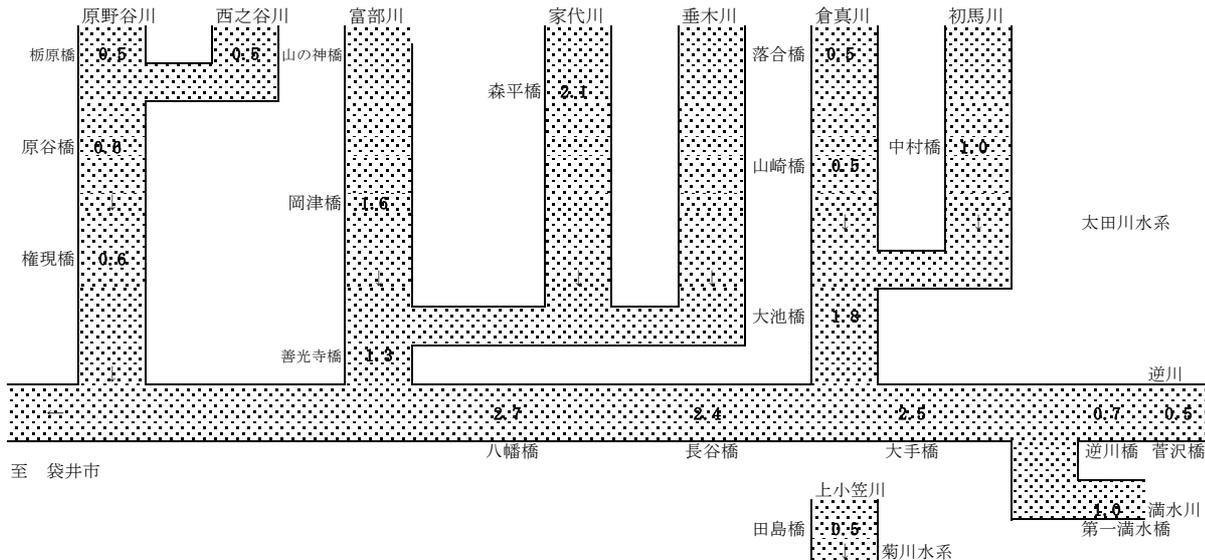
項目 類型	利用目的の 適応性	基準値					該当水域
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/1 以下	25mg/1 以下	7.5mg/1 以上	50MPN/ 100ml以下	第1の2 の(2)に より水域 類型ごと に指定す る水域
A	水道2級 水産1級 水浴 及びB以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/1 以下	25mg/1 以下	7.5mg/1 以上	1,000MPN/ 100ml以下	
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/1 以下	25mg/1 以下	5mg/1 以上	5,000MPN/ 100ml以下	
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/1 以下	50mg/1 以下	5mg/1 以上	—	
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲 げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/1 以下	100mg/1 以下	2mg/1 以上	—	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/1 以下	ごみ等の浮 遊が認めら れないこと。	2mg/1 以上	—	
測定方法		規格12.1に定 める方法又は ガラス電極を 用いる水質自 動監視測定装 置によりこれ と同程度の計 測結果の得ら れる方法	規格21に定 める方法	付表8に掲 げる方法	規格32に定め る方法又は隔 膜電極を用い る水質自動監 視測定装置に よりこれと同 程度の計測結 果の得られる 方法	最確数によ る定量法	
備考							
<p>1 基準値は、日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。</p> <p>2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/1以上とする（湖沼もこれに準ずる。）。</p> <p>3 水質自動監視測定装置とは、当該項目について自動的に計測することができる装置であって、計測結果を自動的に記録する機能を有するもの又はその機能を有する機器と接続されているものをいう（湖沼海域もこれに準ずる。）。</p> <p>4 最確数による定量法とは、次のものをいう（湖沼、海域もこれに準ずる。）。</p> <p>試料10ml、1ml、0.1ml、0.01ml……のように連続した4段階（試料量が0.1ml以下の場合は1mlに希釈して用いる。）を5本ずつBGLB醗酵管に移殖し、35～37℃、48±3時間培養する。ガス発生を認めたものを大腸菌群陽性管とし、各試料量における陽性管数を求め、これから100ml中の最確数を最確数表を用いて算出する。この際、試料はその最大量を移殖したものの全部か又は大多数が大腸菌群陽性となるように、また最少量を移殖したものの全部か又は大多数が大腸菌群陰性となるように適当に希釈して用いる。なお、試料採取後、直ちに試験ができない時は、冷蔵して数時間以内に試験する。</p>							

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

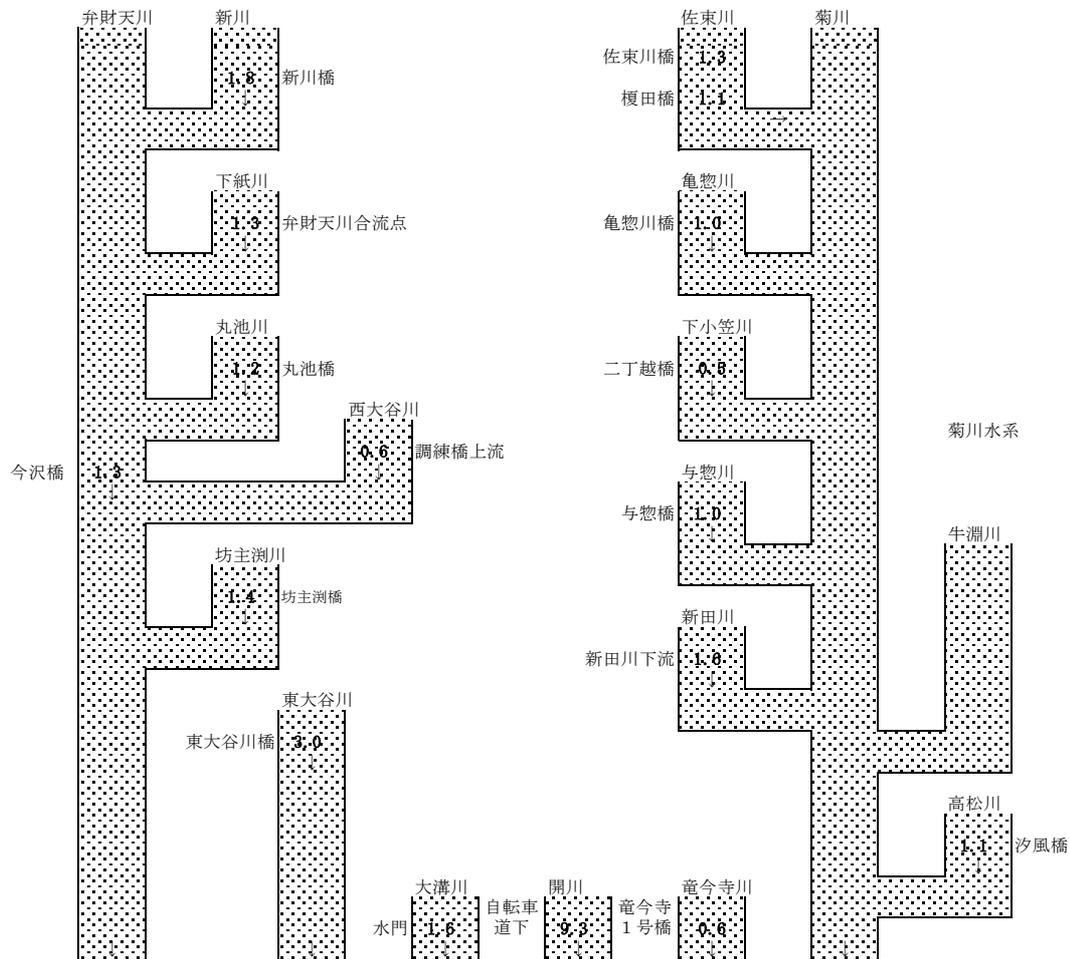
平成24年度水質調査（BOD）結果一覧 75%値

BOD(生物化学的酸素要求量)とは

河川等の汚濁を示す代表的な指標。この値が大きいくほど、水質が汚濁していることを示しています。



至 袋井市



至 遠州灘

1 河川水質調査結果-1 (生活環境項目)

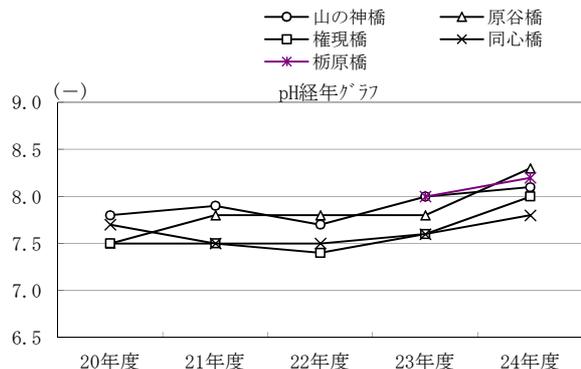
～原野谷川水系経年グラフ～

水素イオン濃度 (pH) (単位; -)

	山の神橋	原谷橋	権現橋	同心橋	栃原橋
20年度	7.8	7.5	7.5	7.7	
21年度	7.9	7.8	7.5	7.5	
22年度	7.7	7.8	7.4	7.5	
23年度	8.0	7.8	7.6	7.6	8.0
24年度	8.1	8.3	8.0	7.8	8.2

年間平均値を記載。

環境基準: 6.5~8.5

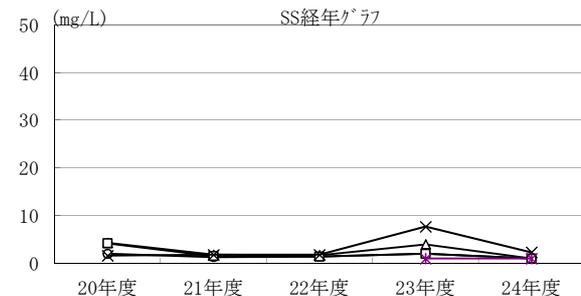


浮遊物質量 (SS) (単位; mg/L)

	山の神橋	原谷橋	権現橋	同心橋	栃原橋
20年度	2.0	4.3	4.2	1.6	
21年度	1.3	1.8	1.5	1.8	
22年度	1.4	1.7	1.4	1.8	
23年度	2.0	4.0	2.0	7.7	1.0
24年度	1.0	1.0	1.0	2.3	1.0

年間平均値を記載。

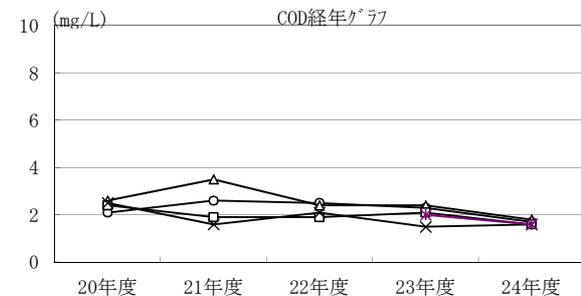
環境基準: 原谷橋・権現橋 25以下



化学的酸素要求量 (COD) (単位; mg/L)

	山の神橋	原谷橋	権現橋	同心橋	栃原橋
20年度	2.1	2.6	2.4	2.5	
21年度	2.6	3.5	1.9	1.6	
22年度	2.5	2.4	1.9	2.1	
23年度	2.3	2.4	2.1	1.5	2.0
24年度	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6

75%値を記載。

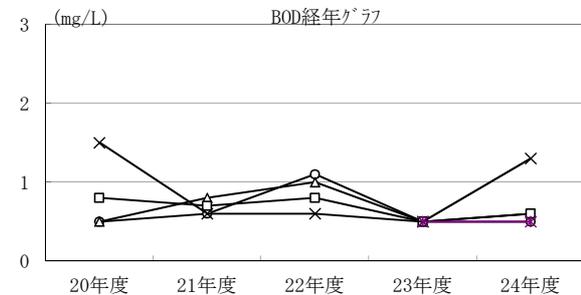


生物化学的酸素要求量 (BOD) (単位; mg/L)

	山の神橋	原谷橋	権現橋	同心橋	栃原橋
20年度	0.5	0.5	0.8	1.5	
21年度	0.6	0.8	0.7	0.6	
22年度	1.1	1.0	0.8	0.6	
23年度	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
24年度	0.5	0.6	0.6	1.3	0.5

75%値を記載。

環境基準: 原谷橋・権現橋 2以下

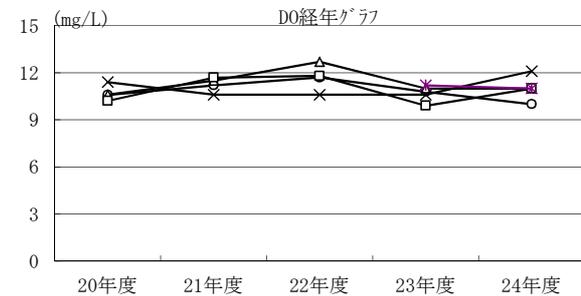


溶存酸素量 (DO) (単位; mg/L)

	山の神橋	原谷橋	権現橋	同心橋	栃原橋
20年度	10.6	10.6	10.2	11.4	
21年度	11.2	11.5	11.7	10.6	
22年度	11.7	12.7	11.8	10.6	
23年度	10.8	11.0	9.9	10.6	11.2
24年度	10.0	11.0	11.0	12.1	11.0

年間平均値を記載。

環境基準: 原谷橋・権現橋 7.5以上



～逆川水系経年グラフ～

水素イオン濃度 (pH) (単位；-)

	八幡橋	長谷橋	大手橋	逆川橋	菅沢橋
20年度	7.8	7.9	8.2	8.2	7.9
21年度	7.8	8.0	8.0	8.1	8.1
22年度	7.7	7.9	8.0	7.9	7.8
23年度	7.9	7.7	8.3	8.1	8.1
24年度	7.9	8.1	8.5	8.1	7.9

年間平均値を記載。

環境基準：6.5～8.5

浮遊物質 (SS) (単位；mg/L)

	八幡橋	長谷橋	大手橋	逆川橋	菅沢橋
20年度	5.7	3.7	5.0	5.2	2.7
21年度	3.4	3.2	2.9	2.7	1.1
22年度	3.8	3.8	3.7	6.8	1.3
23年度	9.0	8.3	11.0	15.0	3.0
24年度	5.0	3.3	4.0	5.0	1.0

年間平均値を記載。

環境基準：菅沢橋 25以下
八幡橋・長谷橋・大手橋・逆川橋 50以下

化学的酸素要求量 (COD) (単位；mg/L)

	八幡橋	長谷橋	大手橋	逆川橋	菅沢橋
20年度	6.0	6.8	6.9	4.6	4.9
21年度	4.7	5.4	4.6	3.4	3.3
22年度	5.5	5.4	6.3	4.1	3.6
23年度	4.6	5.0	4.7	3.2	3.7
24年度	5.2	5.0	6.1	3.5	3.3

75%値を記載。

生物化学的酸素要求量 (BOD) (単位；mg/L)

	八幡橋	長谷橋	大手橋	逆川橋	菅沢橋
20年度	2.5	3.2	2.8	1.2	2.5
21年度	3.1	3.5	1.6	1.1	0.5
22年度	2.0	2.0	4.4	1.0	1.2
23年度	3.1	3.4	1.8	0.6	0.5
24年度	2.7	2.4	2.5	0.7	0.5

75%値を記載。

環境基準：菅沢橋 2以下
八幡橋・長谷橋・大手橋・逆川橋 5以下

溶存酸素量 (DO) (単位；mg/L)

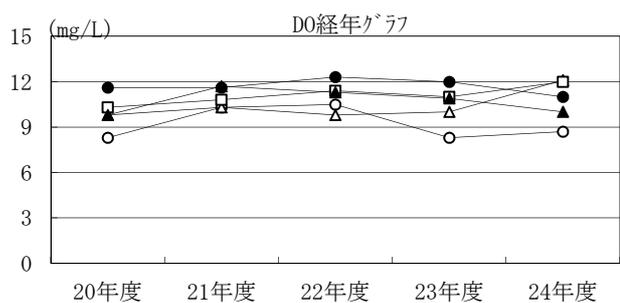
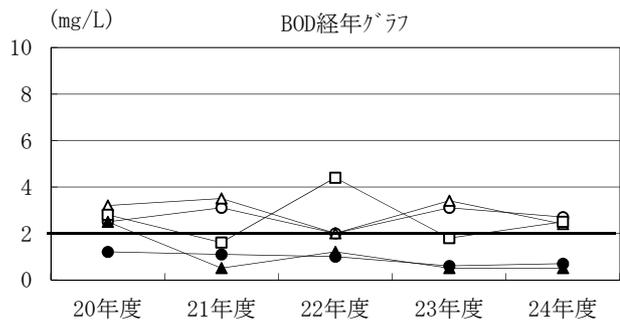
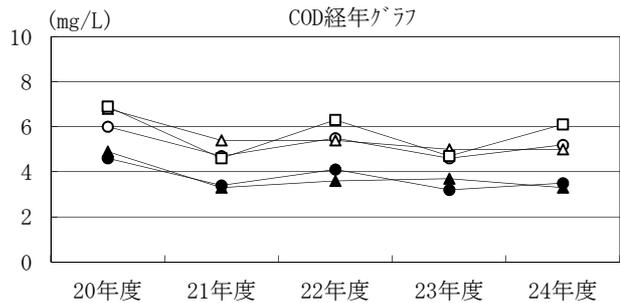
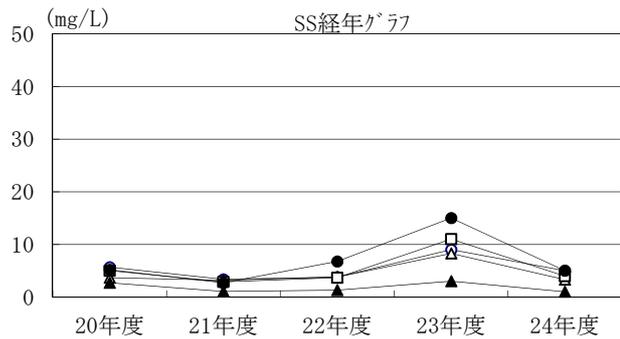
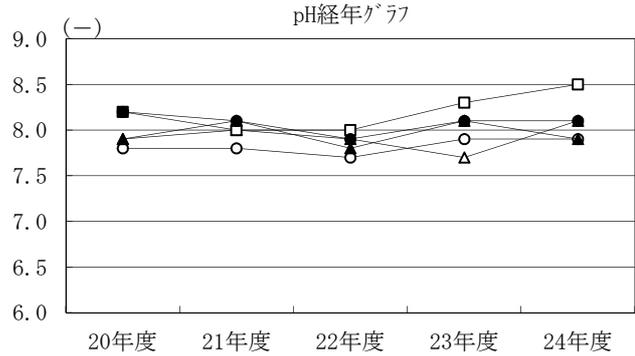
	八幡橋	長谷橋	大手橋	逆川橋	菅沢橋
20年度	8.3	9.8	10.3	11.6	9.8
21年度	10.3	10.3	10.8	11.6	11.7
22年度	10.5	9.8	11.4	12.3	11.3
23年度	8.3	10.0	11.0	12.0	10.9
24年度	8.7	12.1	12.0	11.0	10.0

年間平均値を記載。

環境基準：菅沢橋 7.5以上、八幡橋・長谷橋・大手橋・逆川橋 5以上

※長谷橋は平成23年度より廃止

○ 八幡橋 △ 長谷橋 □ 大手橋
● 逆川橋 ▲ 菅沢橋



～垂木川水系経年グラフ～

水素イオン濃度 (pH)

	森平橋	岡津橋	善光寺橋
20年度	7.7	7.8	7.7
21年度	7.6	7.9	7.7
22年度	7.7	8.5	8.0
23年度	7.8	8.2	7.8
24年度	7.9	8.3	7.9

年間平均値を記載。

浮遊物質 (SS)

	森平橋	岡津橋	善光寺橋
20年度	13.3	14.5	22.3
21年度	8.1	2.6	7.7
22年度	5.8	7.6	8.5
23年度	8.0	7.0	13.0
24年度	7.0	9.0	11.0

年間平均値を記載。

化学的酸素要求量 (COD)

	森平橋	岡津橋	善光寺橋
20年度	5.6	4.9	5.5
21年度	6.4	5.2	6.3
22年度	5.7	6.0	5.8
23年度	5.5	4.5	4.9
24年度	5.5	4.9	5.4

75%値を記載。

生物化学的酸素要求量 (BOD)

	森平橋	岡津橋	善光寺橋
20年度	3.0	1.1	2.9
21年度	3.3	1.3	3.7
22年度	3.6	2.0	2.2
23年度	1.8	0.7	1.8
24年度	2.1	1.6	2.5

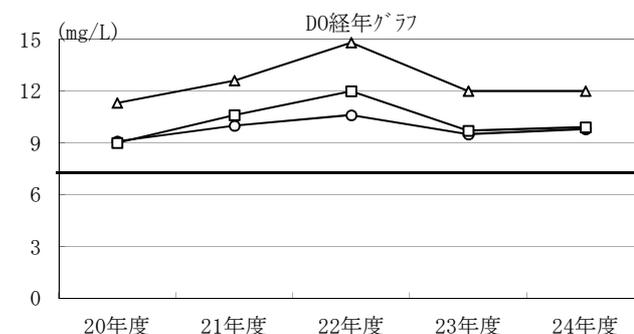
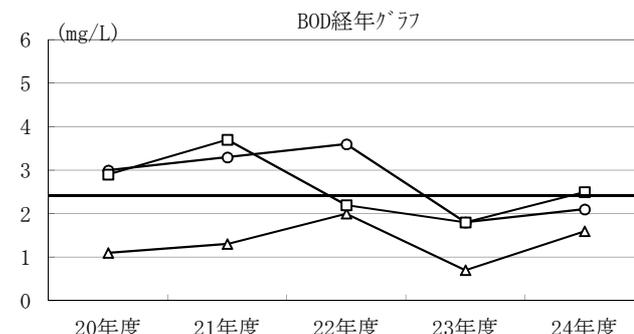
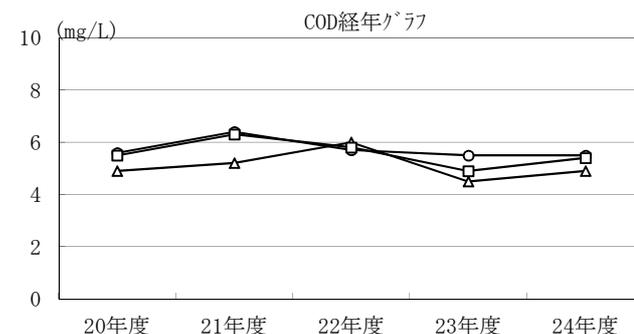
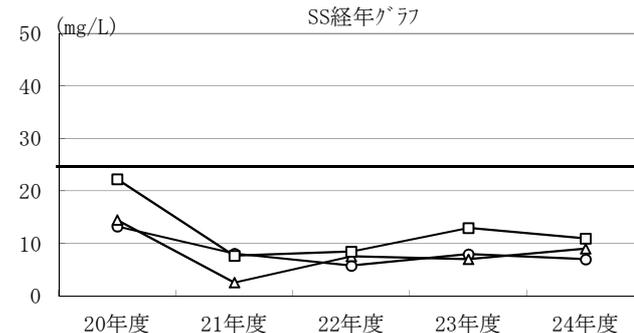
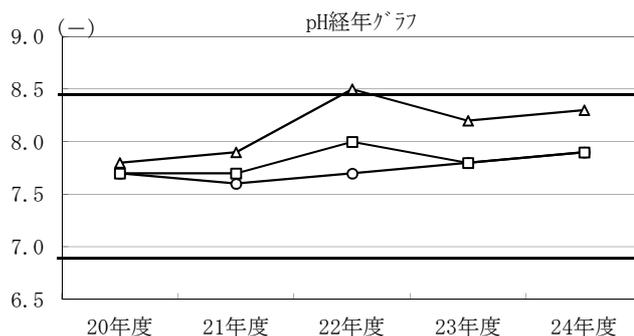
75%値を記載。

溶存酸素量 (DO)

	森平橋	岡津橋	善光寺橋
20年度	9.1	11.3	9.0
21年度	10.0	12.6	10.6
22年度	10.6	14.8	12.0
23年度	9.5	12.0	9.7
24年度	9.8	12.0	9.9

年間平均値を記載。

○ 森平橋 ▲ 岡津橋 □ 善光寺橋



～倉真川水系経年グラフ～

水素イオン濃度 (pH) (単位; -)

	山崎橋	中村橋	大池橋	落合橋
20年度	8.4	8.4	7.9	
21年度	8.5	8.6	8.1	
22年度	8.8	9.0	8.3	
23年度	8.6	8.0	8.1	8.0
24年度	8.2	8.0	8.0	8.0

年間平均値を記載。

浮遊物質 (SS) (単位; mg/L)

	山崎橋	中村橋	大池橋	落合橋
20年度	1.7	5.0	4.7	
21年度	1.2	2.5	1.8	
22年度	1.1	2.7	2.5	
23年度	4.0	3.0	10.0	1.0
24年度	2.0	2.0	5.0	1.0

年間平均値を記載。

化学的酸素要求量 (COD) (単位; mg/L)

	山崎橋	中村橋	大池橋	落合橋
20年度	3.4	4.8	5.5	
21年度	2.8	4.7	5.8	
22年度	3.7	6.3	5.6	
23年度	3.2	5.2	4.3	1.9
24年度	2.8	4.5	5.2	1.6

75%値を記載。

生物化学的酸素要求量 (BOD) (単位; mg/L)

	山崎橋	中村橋	大池橋	落合橋
20年度	0.6	0.9	1.9	
21年度	1.2	1.5	2.3	
22年度	0.8	1.5	3.2	
23年度	0.5	0.7	1.3	0.5
24年度	0.5	1.0	1.8	0.5

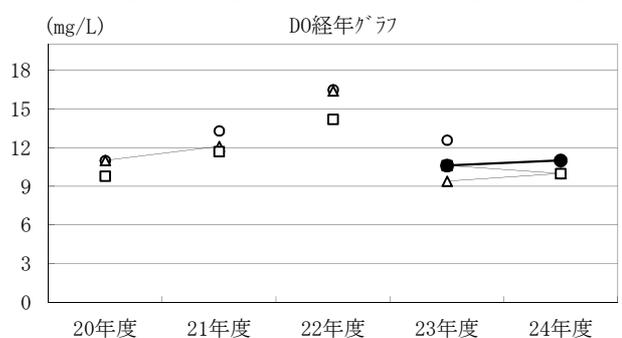
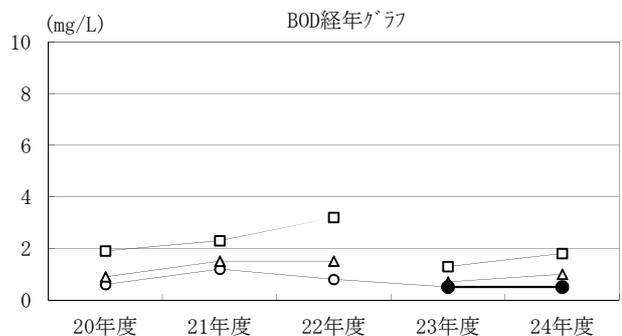
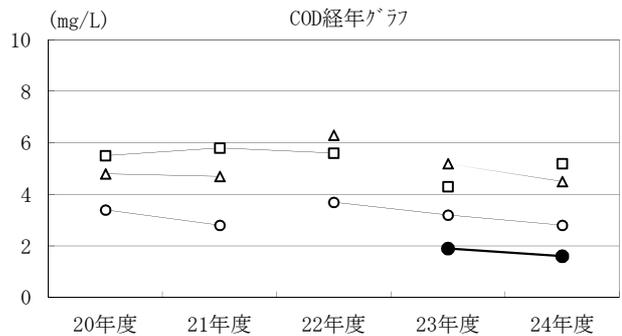
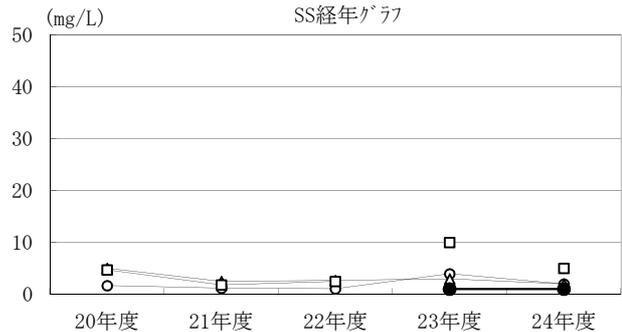
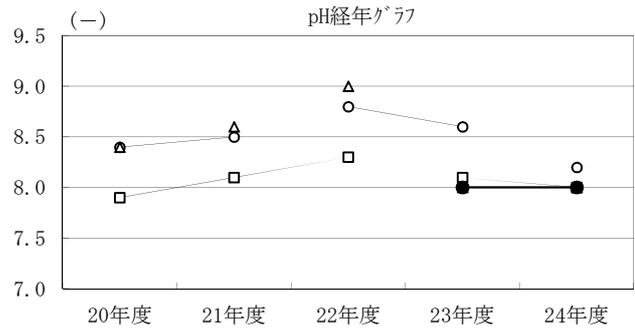
75%値を記載。

溶存酸素量 (DO) (単位; mg/L)

	山崎橋	中村橋	大池橋	落合橋
20年度	11.0	11.0	9.8	
21年度	13.3	12.1	11.7	
22年度	16.5	16.4	14.2	
23年度	12.6	9.4	10.6	10.6
24年度	10.0	10.0	10.0	11.0

年間平均値を記載。

○ 山崎橋 △ 中村橋
□ 大池橋 ● 落合橋



～上小笠川水系経年グラフ～

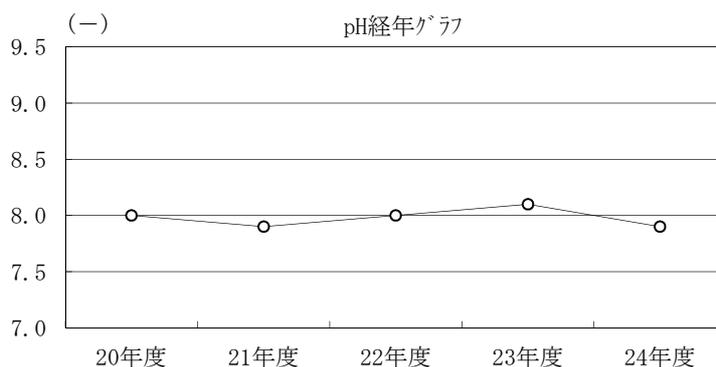
—○— 田島橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	田島橋
20年度	8.0
21年度	7.9
22年度	8.0
23年度	8.1
24年度	7.9

年間平均値を記載。

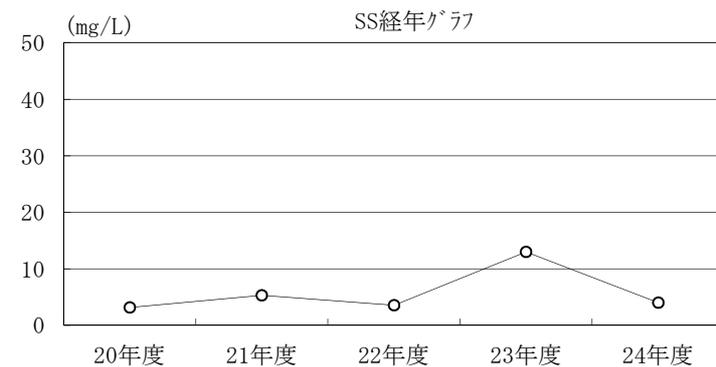


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	田島橋
20年度	3.2
21年度	5.3
22年度	3.6
23年度	13.0
24年度	4.0

年間平均値を記載。

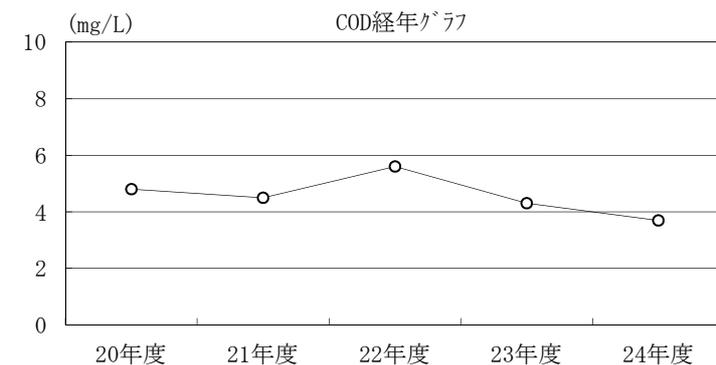


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	田島橋
20年度	4.8
21年度	4.5
22年度	5.6
23年度	4.3
24年度	3.7

75%値を記載。

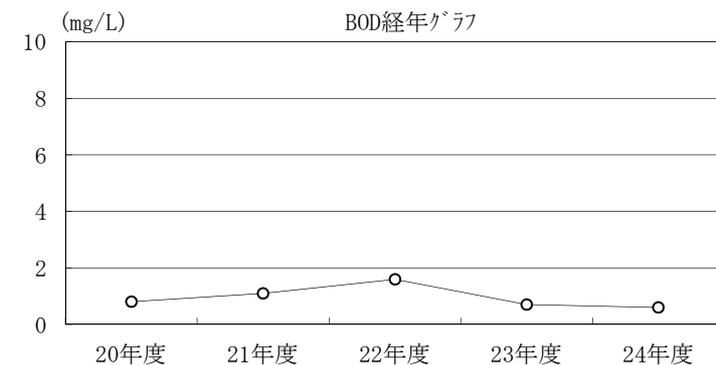


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	田島橋
20年度	0.8
21年度	1.1
22年度	1.6
23年度	0.7
24年度	0.6

75%値を記載。

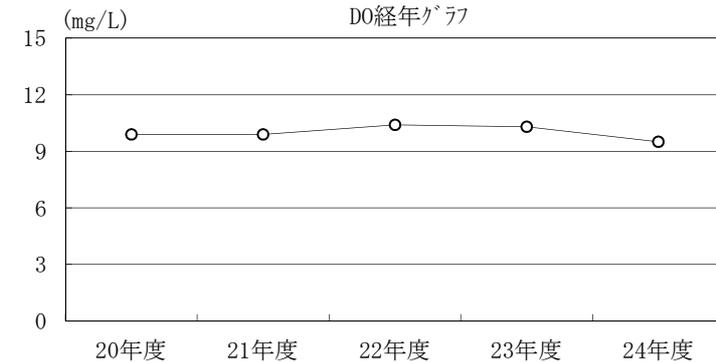


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	田島橋
20年度	9.9
21年度	9.9
22年度	10.4
23年度	10.3
24年度	9.5

年間平均値を記載。



～満水川水系経年グラフ～

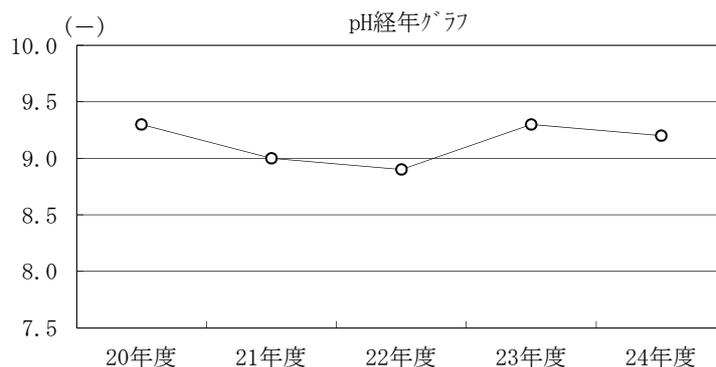
○— 第一満水橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	第一満水橋
20年度	9.3
21年度	9.0
22年度	8.9
23年度	9.3
24年度	9.2

年間平均値を記載。

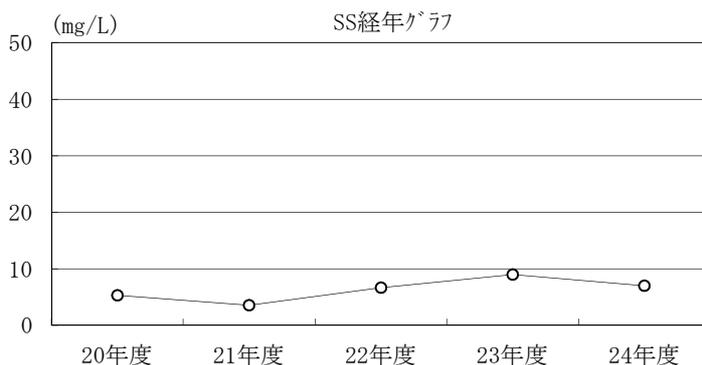


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	第一満水橋
20年度	5.3
21年度	3.6
22年度	6.7
23年度	9.0
24年度	7.0

年間平均値を記載。

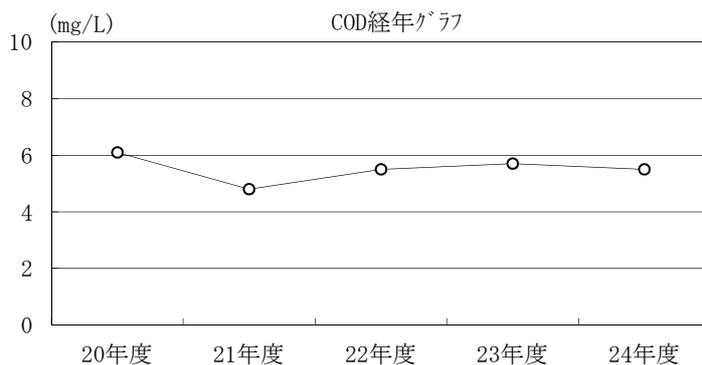


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	第一満水橋
20年度	6.1
21年度	4.8
22年度	5.5
23年度	5.7
24年度	5.5

75%値を記載。

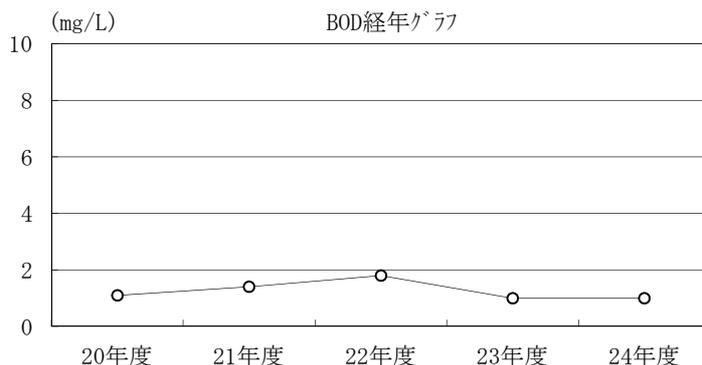


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	第一満水橋
20年度	1.1
21年度	1.4
22年度	1.8
23年度	1.0
24年度	1.0

75%値を記載。

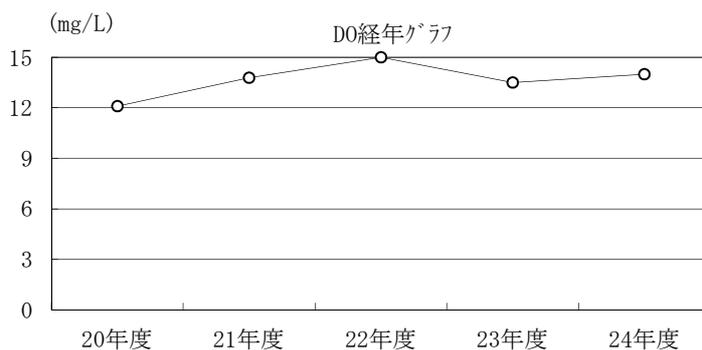


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	第一満水橋
20年度	12.1
21年度	13.8
22年度	15.0
23年度	13.5
24年度	14.0

年間平均値を記載。



～新川水系経年グラフ～

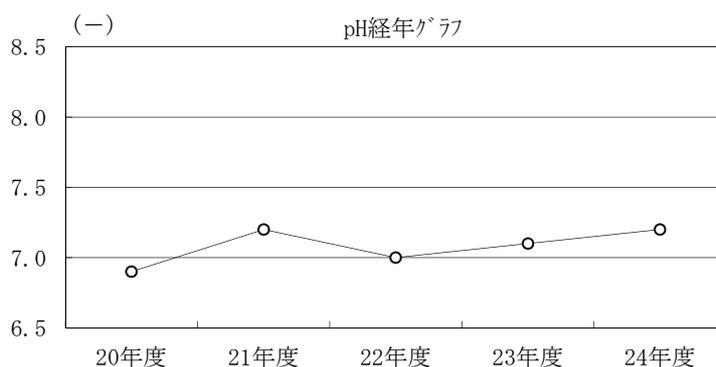
○—新川橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	新川橋
20年度	6.9
21年度	7.2
22年度	7.0
23年度	7.1
24年度	7.2

年間平均値を記載。

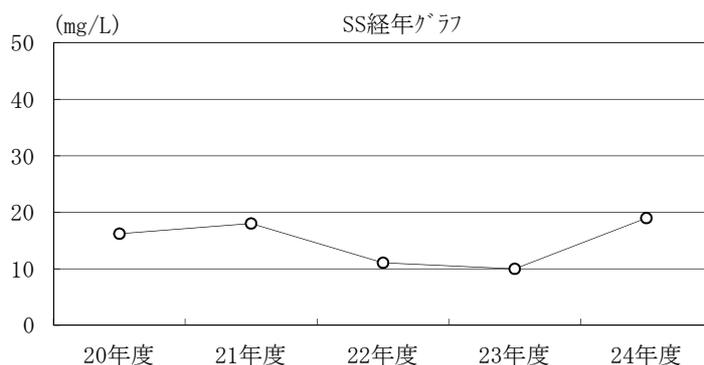


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	新川橋
20年度	16.2
21年度	18.0
22年度	11.1
23年度	10.0
24年度	19.0

年間平均値を記載。

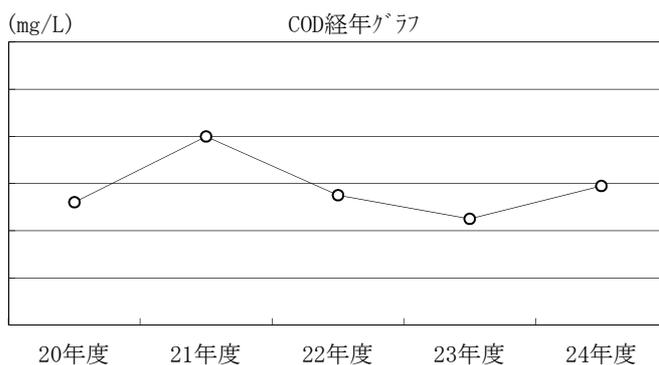


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	新川橋
20年度	5.2
21年度	8.0
22年度	5.5
23年度	4.5
24年度	5.9

75%値を記載。

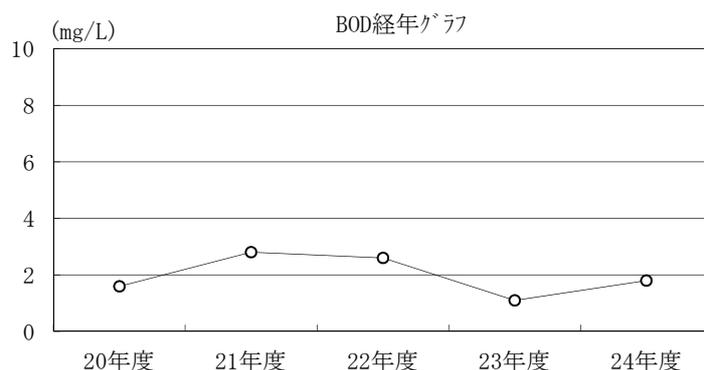


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	新川橋
20年度	1.6
21年度	2.8
22年度	2.6
23年度	1.1
24年度	1.8

75%値を記載。

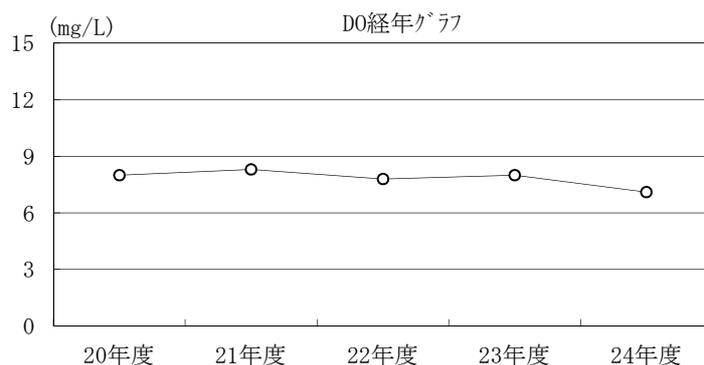


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	新川橋
20年度	8.0
21年度	8.3
22年度	7.8
23年度	8.0
24年度	7.1

年間平均値を記載。



～下紙川水系経年グラフ～

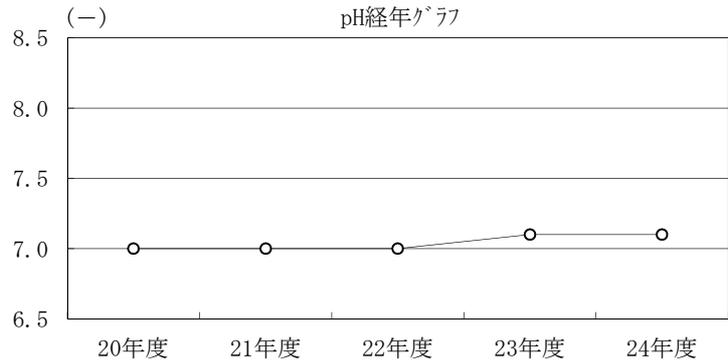
—○— 弁財天側合流点

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	弁財天側合流点
20年度	7.0
21年度	7.0
22年度	7.0
23年度	7.1
24年度	7.1

年間平均値を記載。

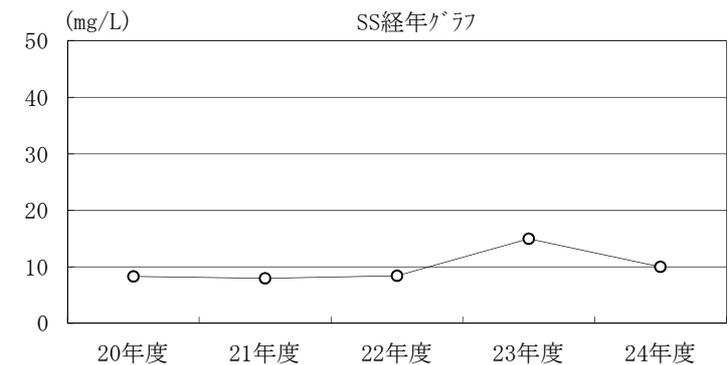


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	弁財天側合流点
20年度	8.3
21年度	8.0
22年度	8.4
23年度	15.0
24年度	10.0

年間平均値を記載。

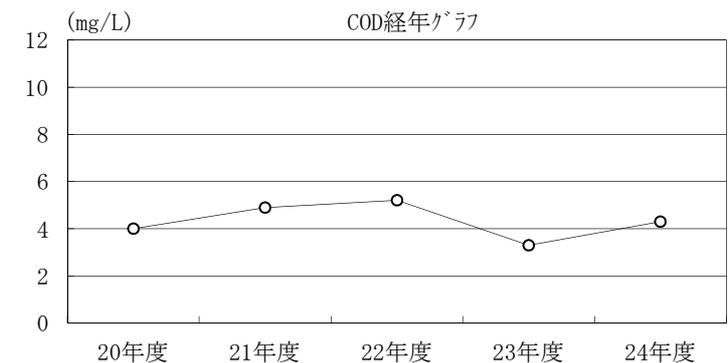


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	弁財天側合流点
20年度	4.0
21年度	4.9
22年度	5.2
23年度	3.3
24年度	4.3

75%値を記載。

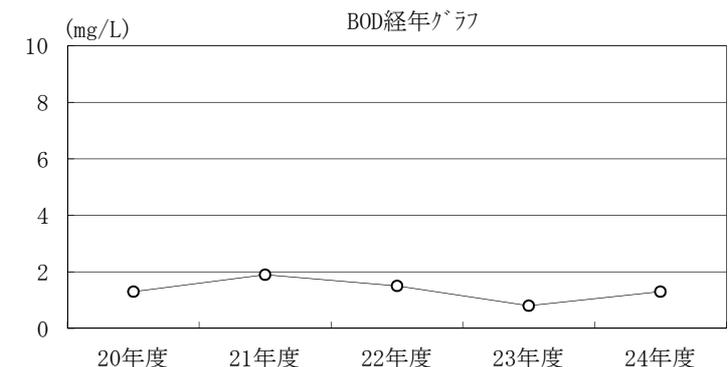


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	弁財天側合流点
20年度	1.3
21年度	1.9
22年度	1.5
23年度	0.8
24年度	1.3

75%値を記載。

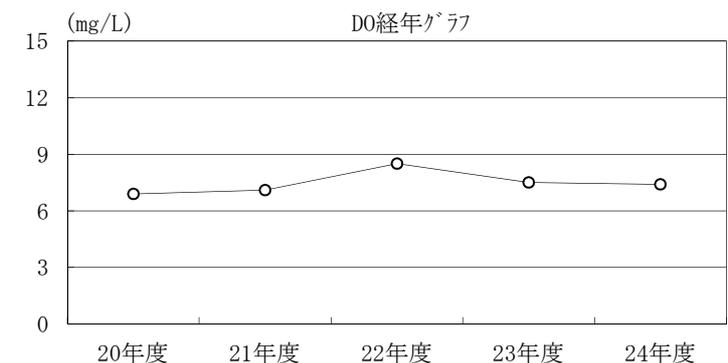


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	弁財天側合流点
20年度	6.9
21年度	7.1
22年度	8.5
23年度	7.5
24年度	7.4

年間平均値を記載。



～丸池川水系経年グラフ～

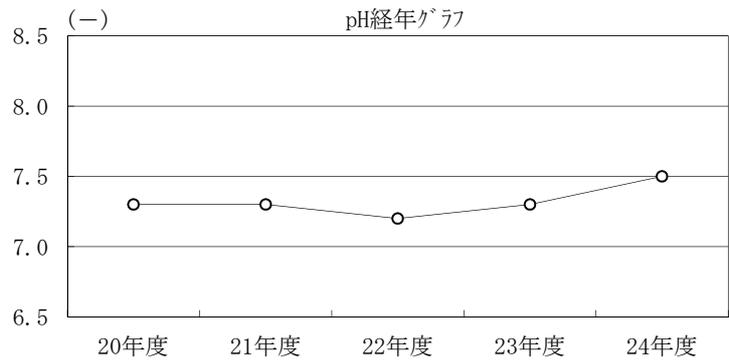
—○— 丸池橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	丸池橋
20年度	7.3
21年度	7.3
22年度	7.2
23年度	7.3
24年度	7.5

年間平均値を記載。

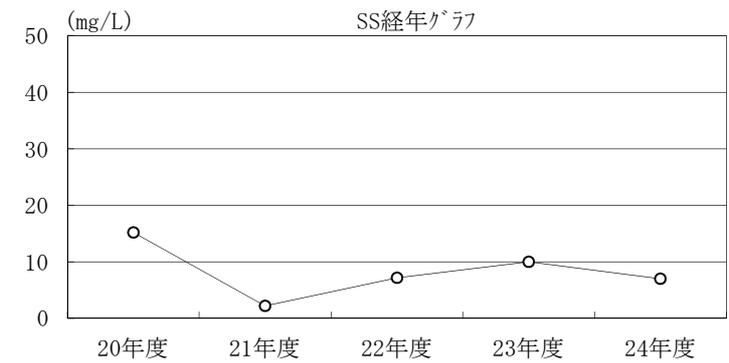


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	丸池橋
20年度	15.2
21年度	2.2
22年度	7.2
23年度	10.0
24年度	7.0

年間平均値を記載。

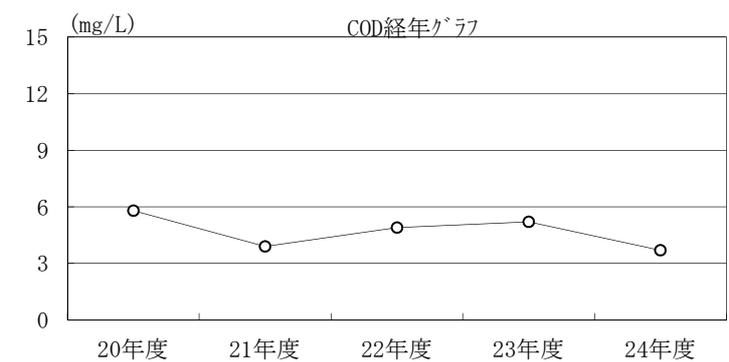


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	丸池橋
20年度	5.8
21年度	3.9
22年度	4.9
23年度	5.2
24年度	3.7

75%値を記載。

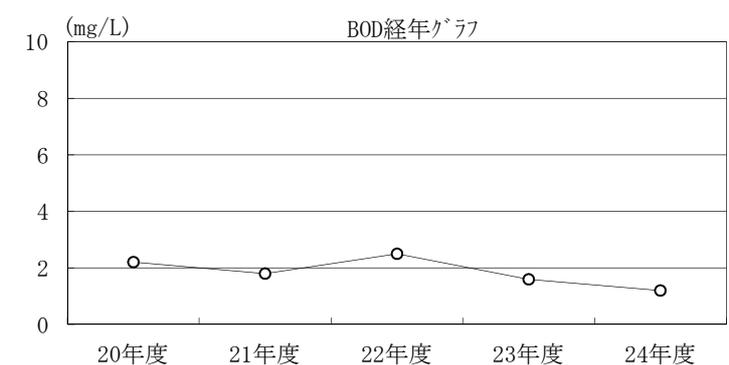


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	丸池橋
20年度	2.2
21年度	1.8
22年度	2.5
23年度	1.6
24年度	1.2

75%値を記載。

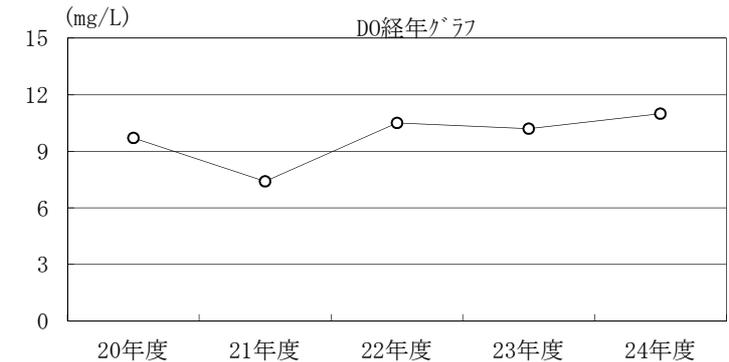


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	丸池橋
20年度	9.7
21年度	7.4
22年度	10.5
23年度	10.2
24年度	11.0

年間平均値を記載。



～弁財天川水系経年グラフ～

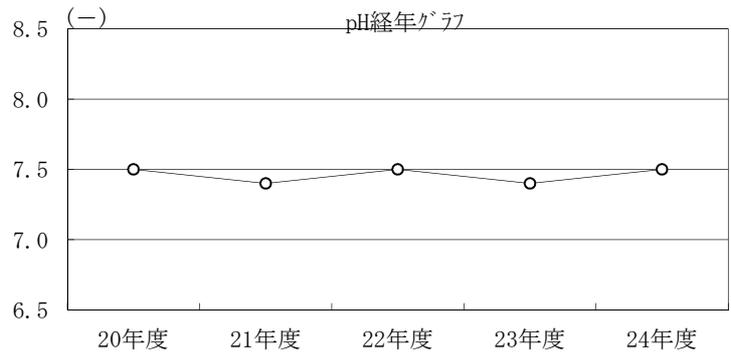
○—今沢橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位；—)

	今沢橋
20年度	7.5
21年度	7.4
22年度	7.5
23年度	7.4
24年度	7.5

年間平均値を記載。

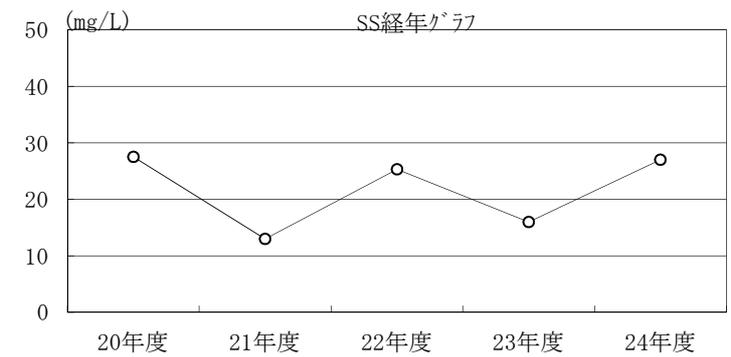


浮遊物質 (SS)

(単位；mg/L)

	今沢橋
20年度	27.5
21年度	13.0
22年度	25.3
23年度	16.0
24年度	27.0

年間平均値を記載。

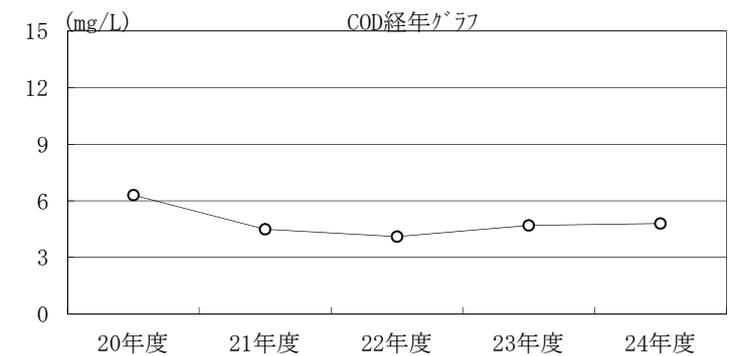


化学的酸素要求量 (COD)

(単位；mg/L)

	今沢橋
20年度	6.3
21年度	4.5
22年度	4.1
23年度	4.7
24年度	4.8

75%値を記載。

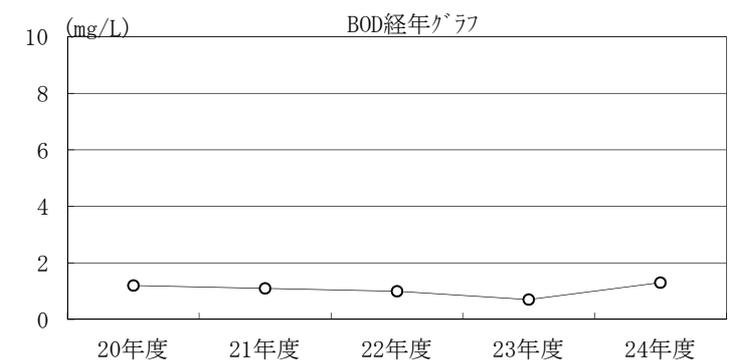


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位；mg/L)

	今沢橋
20年度	1.2
21年度	1.1
22年度	1.0
23年度	0.7
24年度	1.3

75%値を記載。

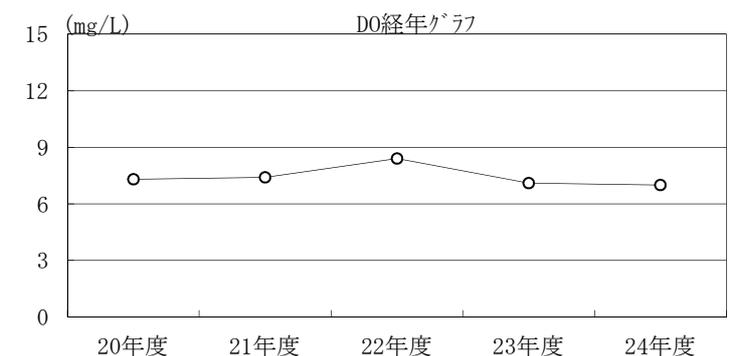


溶存酸素量 (DO)

(単位；mg/L)

	今沢橋
20年度	7.3
21年度	7.4
22年度	8.4
23年度	7.1
24年度	7.0

年間平均値を記載。



～坊主沢川水系経年グラフ～

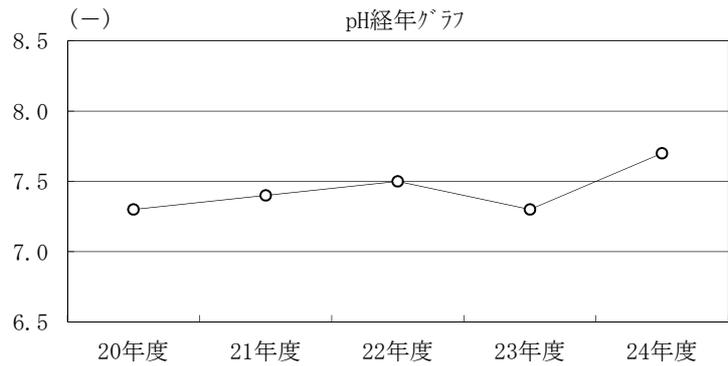
○— 北東側橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	北東側橋
20年度	7.3
21年度	7.4
22年度	7.5
23年度	7.3
24年度	7.7

年間平均値を記載。

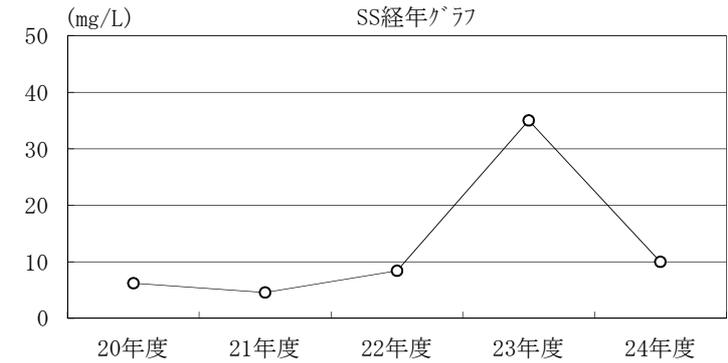


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	北東側橋
20年度	6.2
21年度	4.6
22年度	8.4
23年度	35.0
24年度	10.0

年間平均値を記載。

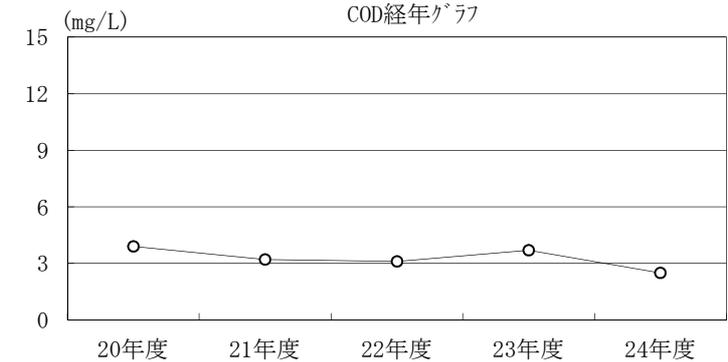


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	北東側橋
20年度	3.9
21年度	3.2
22年度	3.1
23年度	3.7
24年度	2.5

75%値を記載。

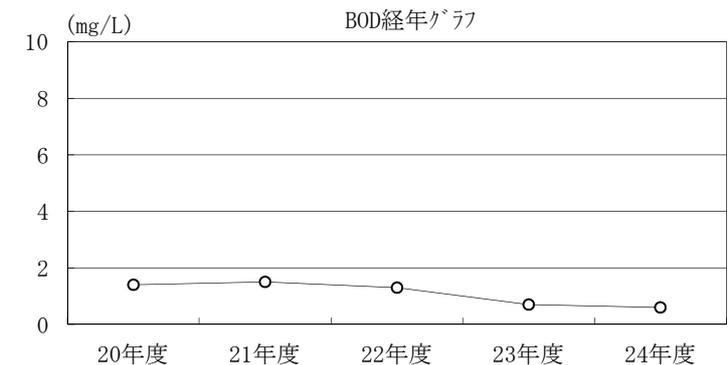


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	北東側橋
20年度	1.4
21年度	1.5
22年度	1.3
23年度	0.7
24年度	0.6

75%値を記載。

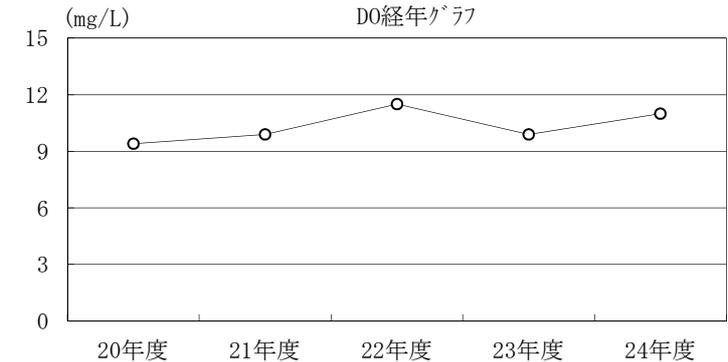


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	北東側橋
20年度	9.4
21年度	9.9
22年度	11.5
23年度	9.9
24年度	11.0

年間平均値を記載。



～大溝川水系経年グラフ～

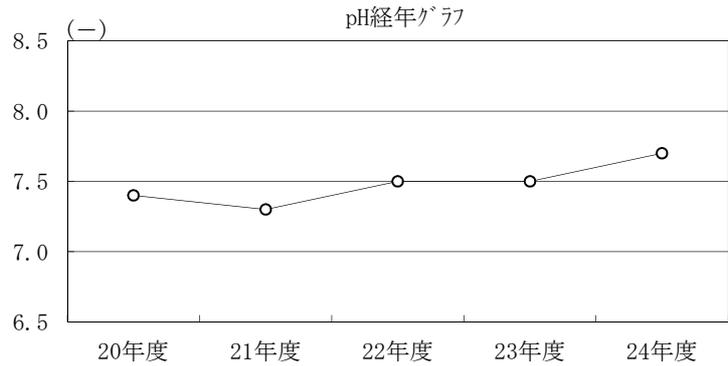
—○— 水門

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	水門
20年度	7.4
21年度	7.3
22年度	7.5
23年度	7.5
24年度	7.7

年間平均値を記載。

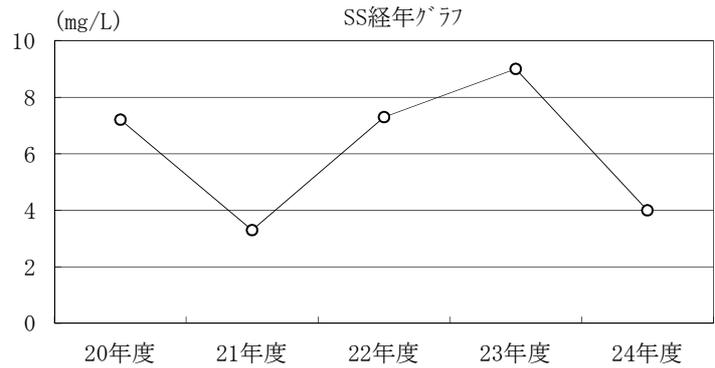


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	水門
20年度	7.2
21年度	3.3
22年度	7.3
23年度	9.0
24年度	4.0

年間平均値を記載。

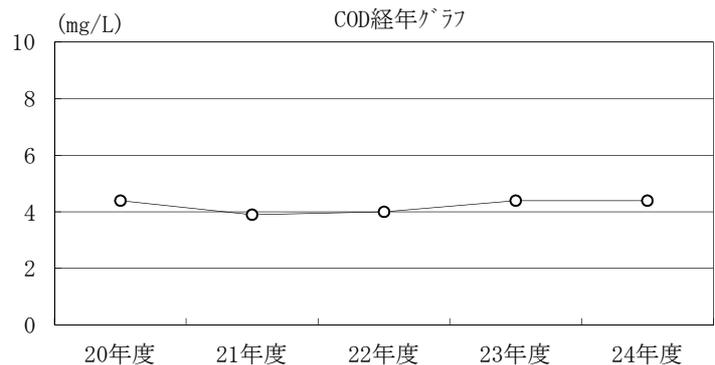


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	水門
20年度	4.4
21年度	3.9
22年度	4.0
23年度	4.4
24年度	4.4

75%値を記載。

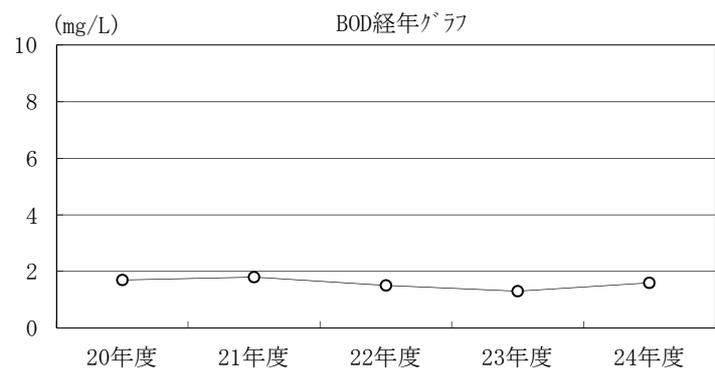


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	水門
20年度	1.7
21年度	1.8
22年度	1.5
23年度	1.3
24年度	1.6

75%値を記載。

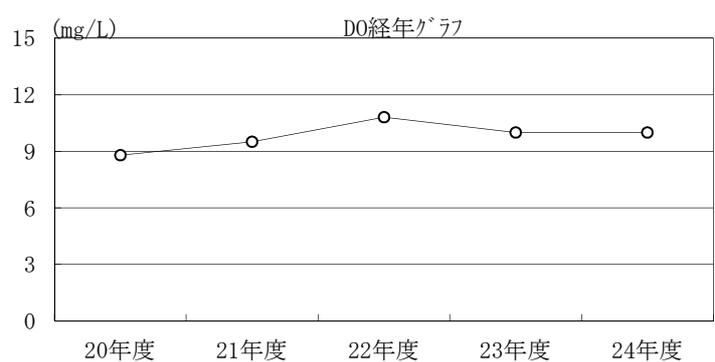


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	水門
20年度	8.8
21年度	9.5
22年度	10.8
23年度	10.0
24年度	10.0

年間平均値を記載。



～開川水系経年グラフ～

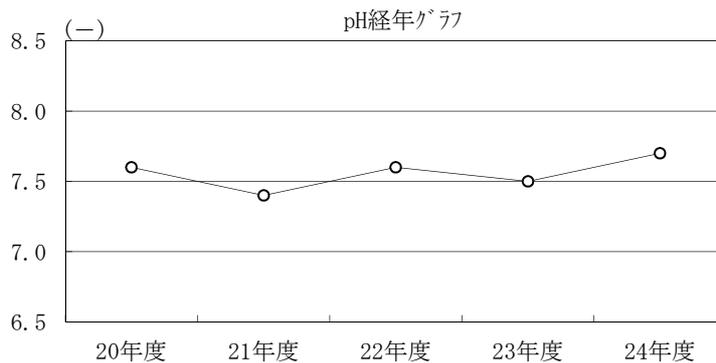
—○— 自転車道下

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	自転車道下
20年度	7.6
21年度	7.4
22年度	7.6
23年度	7.5
24年度	7.7

年間平均値を記載。

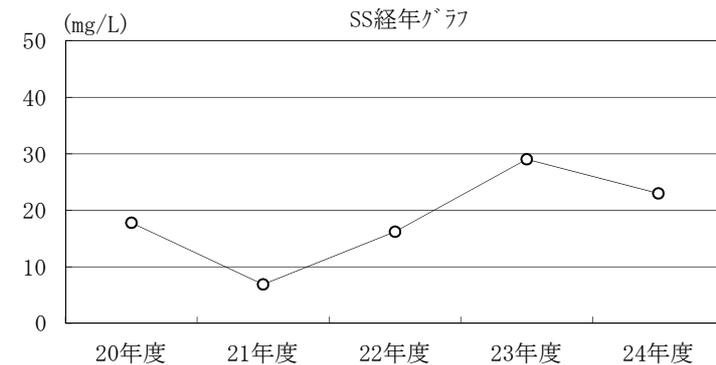


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	自転車道下
20年度	17.8
21年度	6.9
22年度	16.2
23年度	29.0
24年度	23.0

年間平均値を記載。

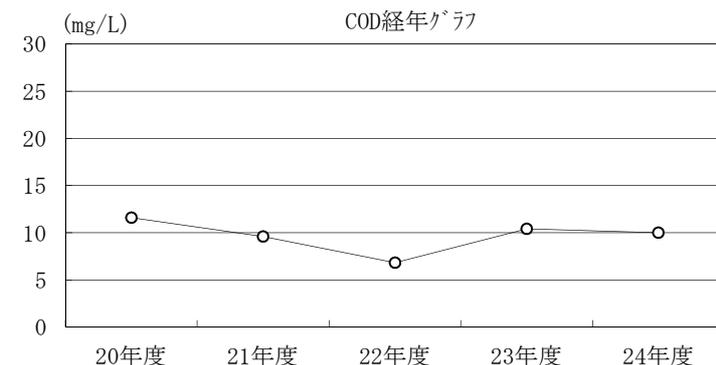


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	自転車道下
20年度	11.6
21年度	9.6
22年度	6.8
23年度	10.4
24年度	10.0

75%値を記載。

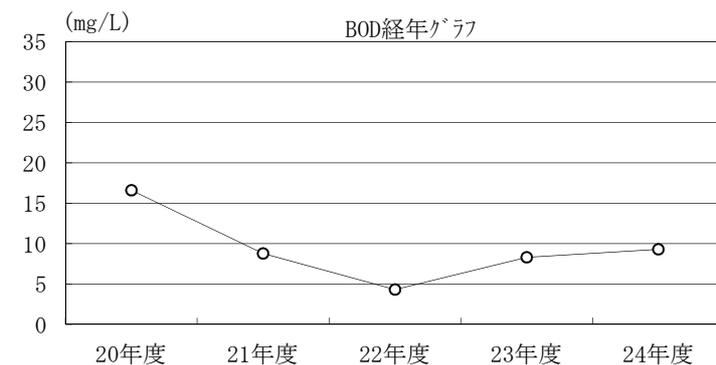


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	自転車道下
20年度	16.6
21年度	8.8
22年度	4.3
23年度	8.3
24年度	9.3

75%値を記載。

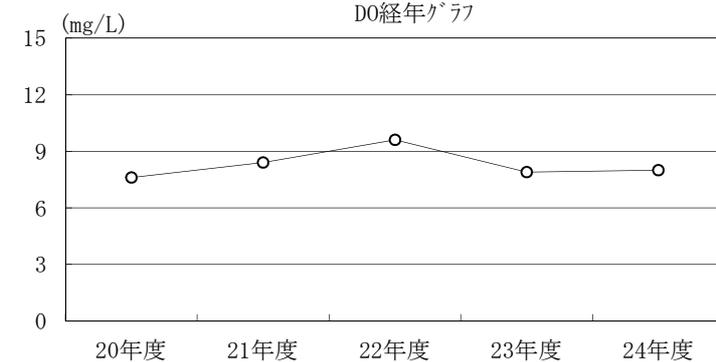


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	自転車道下
20年度	7.6
21年度	8.4
22年度	9.6
23年度	7.9
24年度	8.0

年間平均値を記載。



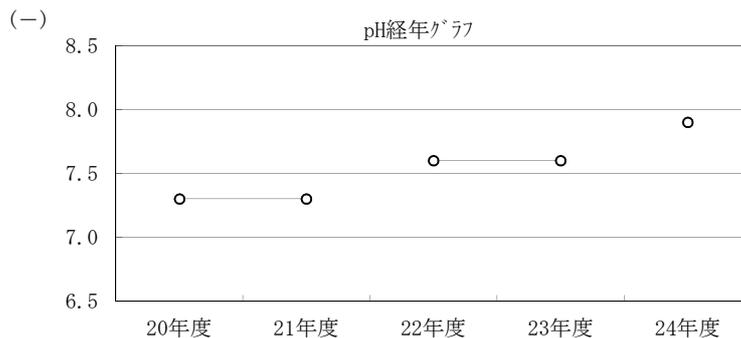
～西大谷川水系経年グラフ～

○— 調練橋上流

水素イオン濃度 (pH)
(単位 ; -)

	調練橋上流
20年度	7.3
21年度	7.3
22年度	7.6
23年度	7.6
24年度	7.9

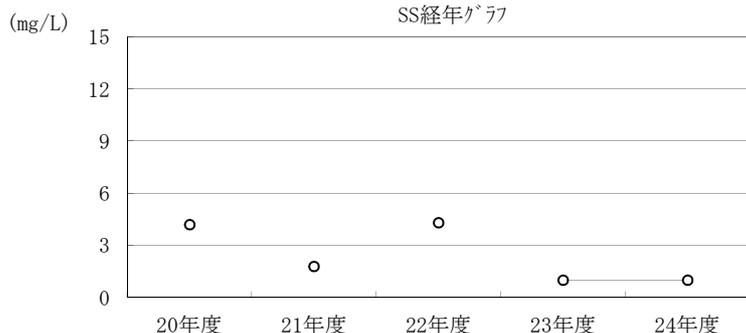
年間平均値を記載。



浮遊物質 (SS)
(単位 ; mg/L)

	調練橋上流
20年度	4.2
21年度	1.8
22年度	4.3
23年度	1.0
24年度	1.0

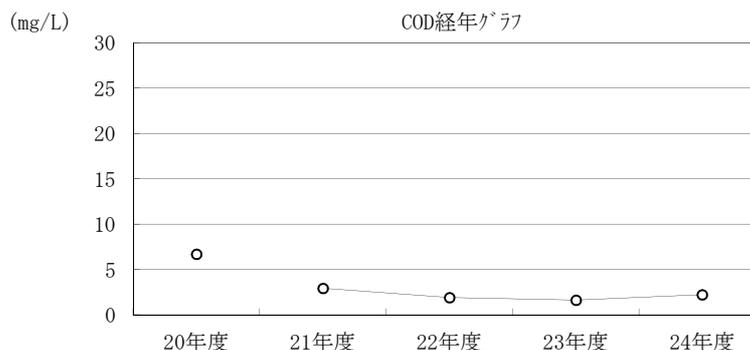
年間平均値を記載。



化学的酸素要求量 (COD)
(単位 ; mg/L)

	調練橋上流
20年度	6.7
21年度	2.9
22年度	1.9
23年度	1.6
24年度	2.2

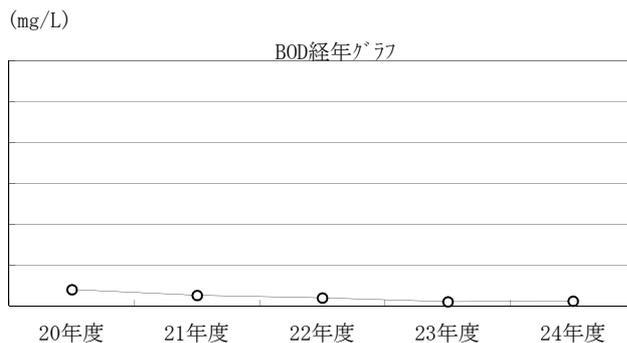
75%値を記載。



生物化学的酸素要求量 (BOD)
(単位 ; mg/L)

	調練橋上流
20年度	2.0
21年度	1.3
22年度	1.0
23年度	0.5
24年度	0.6

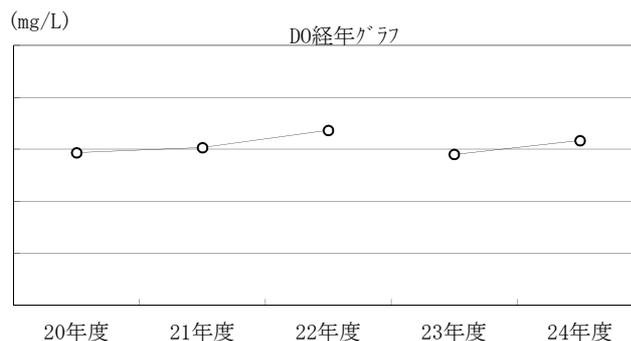
75%値を記載。



溶存酸素量 (DO)
(単位 ; mg/L)

	調練橋上流
20年度	8.8
21年度	9.1
22年度	10.1
23年度	8.7
24年度	9.5

年間平均値を記載。



～東大谷川水系経年グラフ～

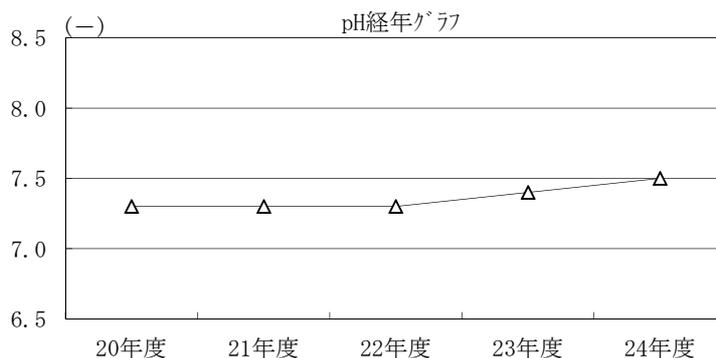
—△— 東大谷川橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	東大谷川橋
20年度	7.3
21年度	7.3
22年度	7.3
23年度	7.4
24年度	7.5

年間平均値を記載

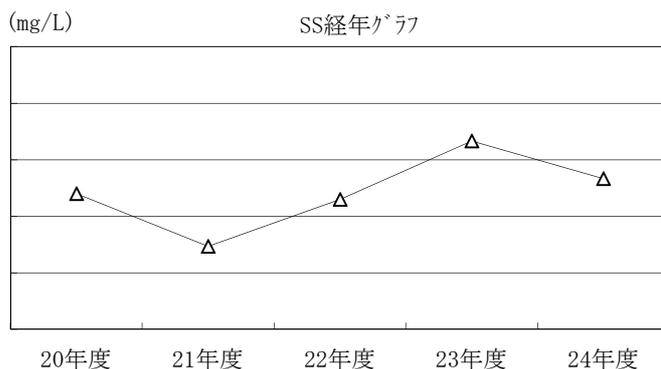


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	東大谷川橋
20年度	7.2
21年度	4.4
22年度	6.9
23年度	10.0
24年度	8.0

年間平均値を記載

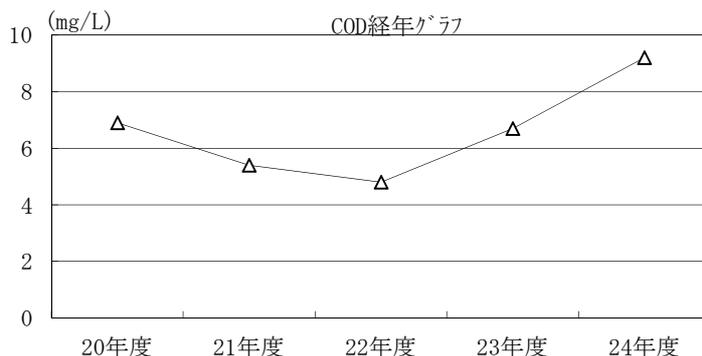


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	東大谷川橋
20年度	6.9
21年度	5.4
22年度	4.8
23年度	6.7
24年度	9.2

75%値を記載

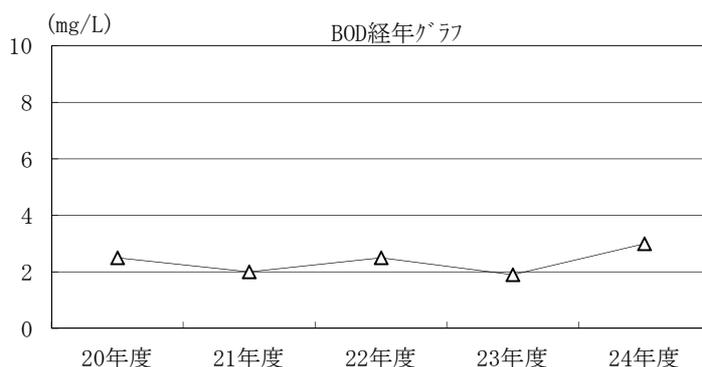


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	東大谷川橋
20年度	2.5
21年度	2.0
22年度	2.5
23年度	1.9
24年度	3.0

75%値を記載

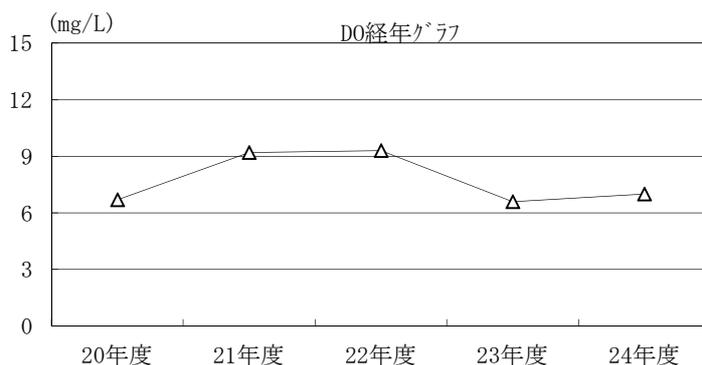


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	東大谷川橋
20年度	6.7
21年度	9.2
22年度	9.3
23年度	6.6
24年度	7.0

年間平均値を記載



～竜今寺川水系経年グラフ～

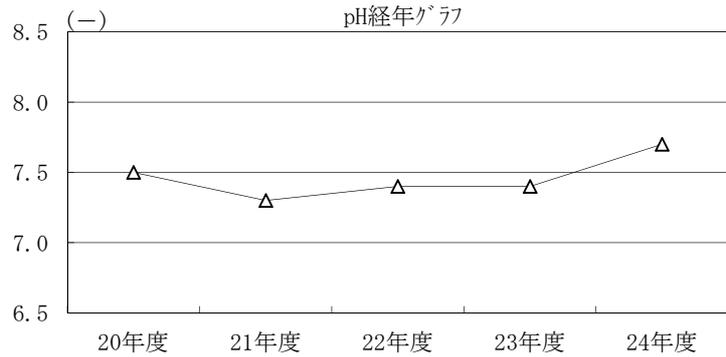
—△— 竜今寺1号橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	竜今寺1号橋
20年度	7.5
21年度	7.3
22年度	7.4
23年度	7.4
24年度	7.7

年間平均値を記載

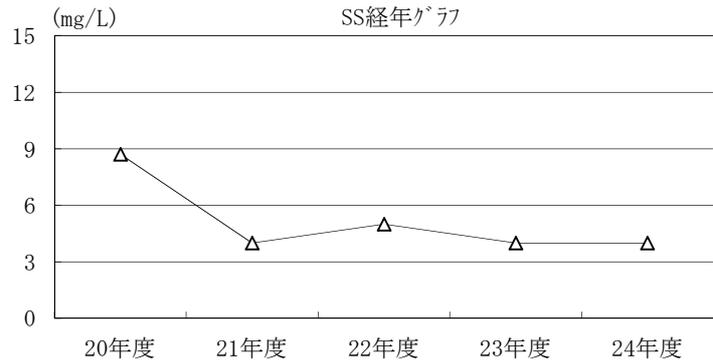


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	竜今寺1号橋
20年度	8.7
21年度	4.0
22年度	5.0
23年度	4.0
24年度	4.0

年間平均値を記載

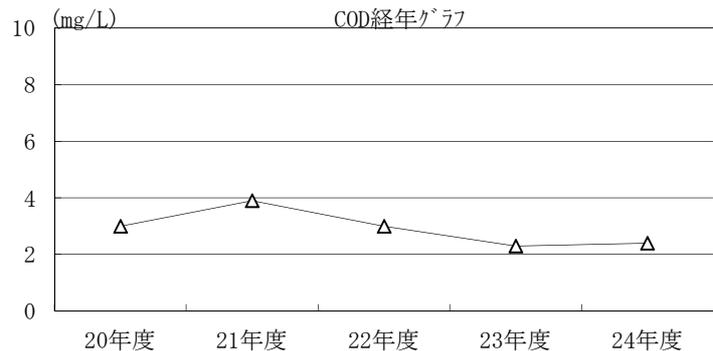


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	竜今寺1号橋
20年度	3.0
21年度	3.9
22年度	3.0
23年度	2.3
24年度	2.4

75%値を記載

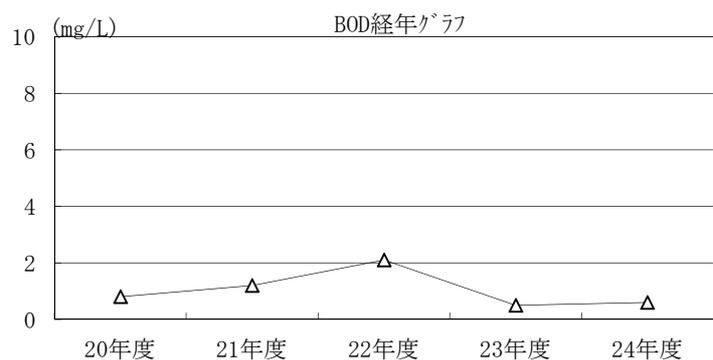


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	竜今寺1号橋
20年度	0.8
21年度	1.2
22年度	2.1
23年度	0.5
24年度	0.6

75%値を記載

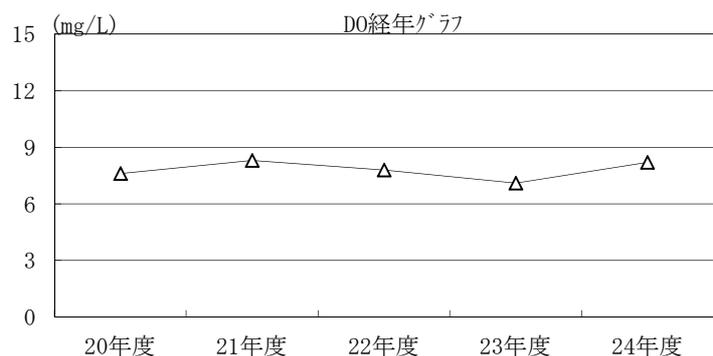


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	竜今寺1号橋
20年度	7.6
21年度	8.3
22年度	7.8
23年度	7.1
24年度	8.2

年間平均値を記載



～佐東川水系経年グラフ～

水素イオン濃度 (pH)

(単位；－)

	佐東川橋	榎田橋
20年度	8.1	8.0
21年度	8.0	8.0
22年度	7.9	7.9
23年度	8.1	8.1
24年度	8.1	8.1

年間平均値を記載。

浮遊物質 (SS)

(単位；mg/L)

	佐東川橋	榎田橋
20年度	3.7	8.8
21年度	3.0	2.6
22年度	5.5	8.0
23年度	4.0	39.0
24年度	6.0	12.0

年間平均値を記載。

化学的酸素要求量 (COD)

(単位；mg/L)

	佐東川橋	榎田橋
20年度	6.1	6.0
21年度	4.9	4.5
22年度	5.7	5.3
23年度	5.6	5.6
24年度	5.4	4.0

75%値を記載。

生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位；mg/L)

	佐東川橋	榎田橋
20年度	1.4	1.5
21年度	1.3	1.3
22年度	2.6	2.3
23年度	0.9	1.2
24年度	1.3	1.1

75%値を記載。

溶存酸素量 (D0)

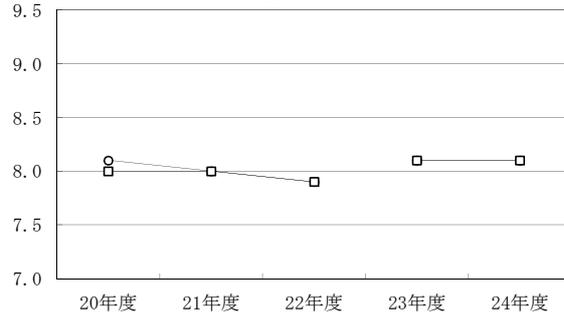
(単位；mg/L)

	佐東川橋	榎田橋
20年度	9.8	9.8
21年度	11.3	9.9
22年度	9.3	10.5
23年度	10.5	10.6
24年度	10.0	10.0

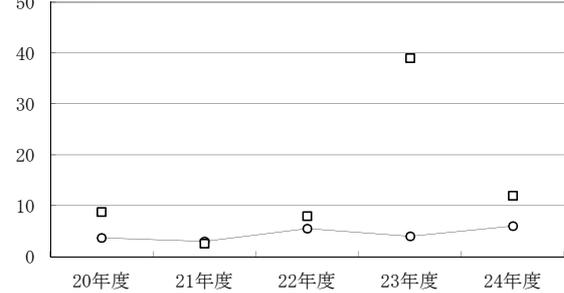
年間平均値を記載。

○— 佐東川橋 □— 榎田橋

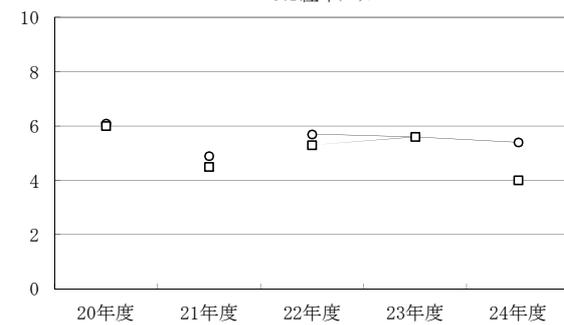
(一) pH経年グラフ



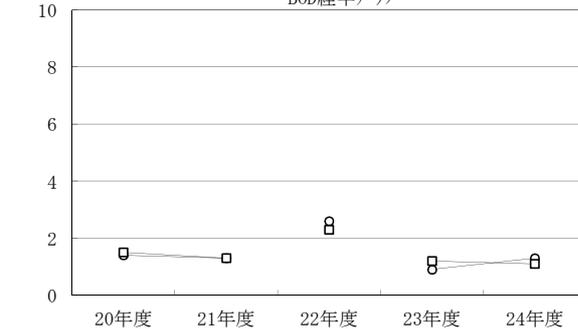
(mg/L) SS経年グラフ



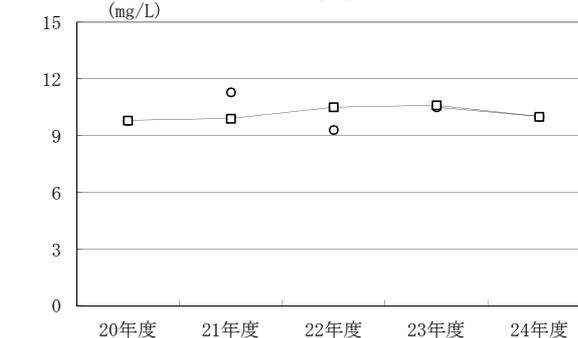
(mg/L) COD経年グラフ



(mg/L) BOD経年グラフ



(mg/L) D0経年グラフ



～亀惣川水系経年グラフ～

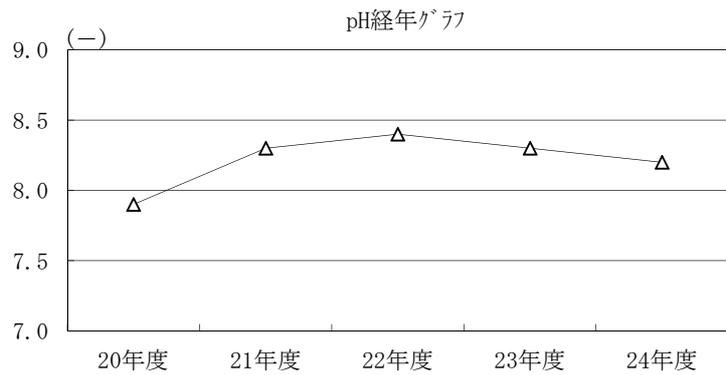
—△— 亀惣川橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	亀惣川橋
20年度	7.9
21年度	8.3
22年度	8.4
23年度	8.3
24年度	8.2

年間平均値を記載

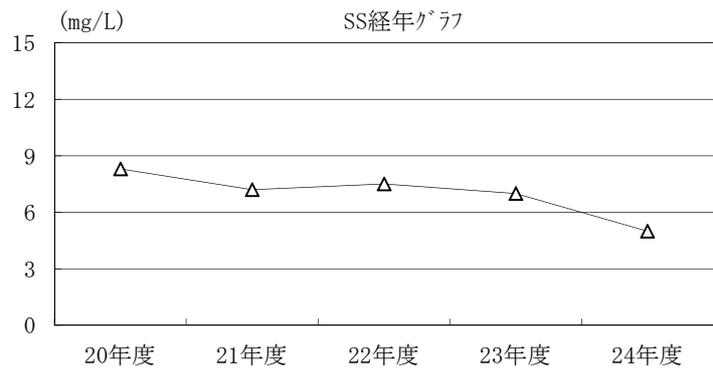


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	亀惣川橋
20年度	8.3
21年度	7.2
22年度	7.5
23年度	7.0
24年度	5.0

年間平均値を記載

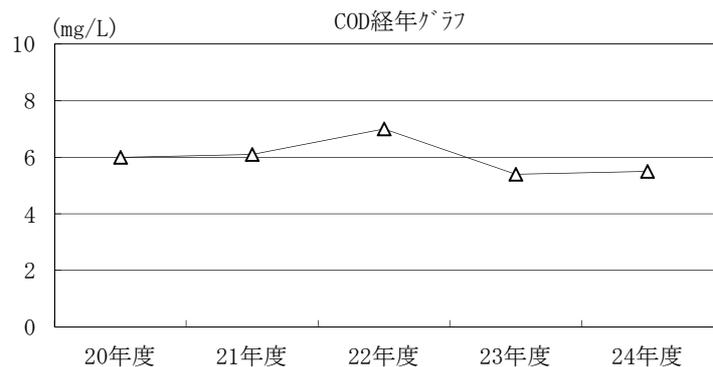


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	亀惣川橋
20年度	6.0
21年度	6.1
22年度	7.0
23年度	5.4
24年度	5.5

75%値を記載

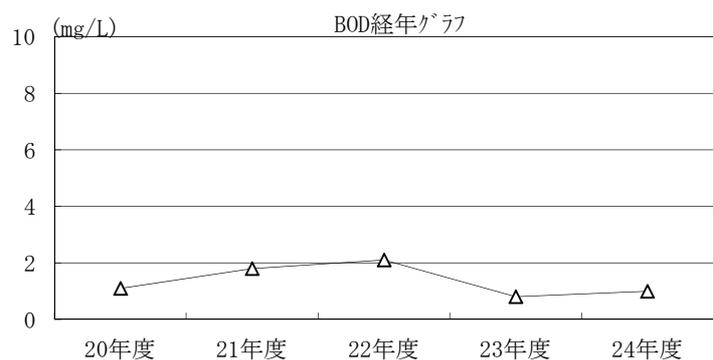


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	亀惣川橋
20年度	1.1
21年度	1.8
22年度	2.1
23年度	0.8
24年度	1.0

75%値を記載

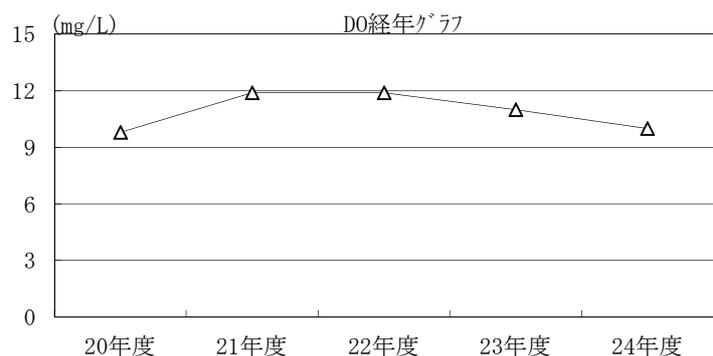


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	亀惣川橋
20年度	9.8
21年度	11.9
22年度	11.9
23年度	11.0
24年度	10.0

年間平均値を記載



～下小笠川水系経年グラフ～

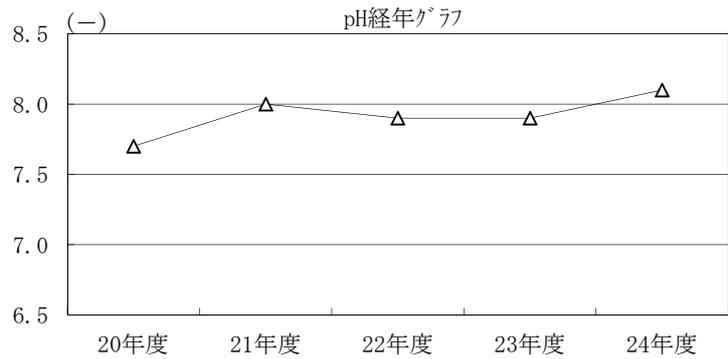
—△— 二丁越橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	二丁越橋
20年度	7.7
21年度	8.0
22年度	7.9
23年度	7.9
24年度	8.1

年間平均値を記載

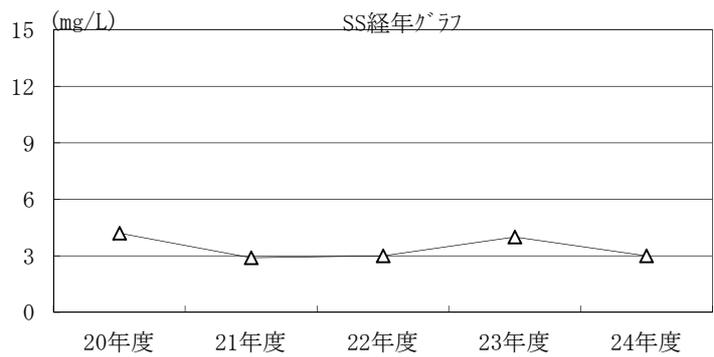


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	二丁越橋
20年度	4.2
21年度	2.9
22年度	3.0
23年度	4.0
24年度	3.0

年間平均値を記載

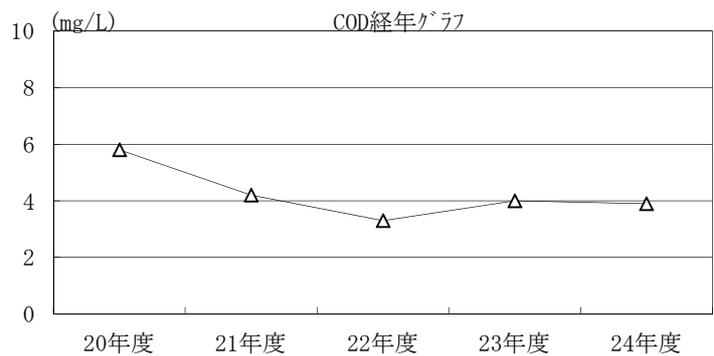


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	二丁越橋
20年度	5.8
21年度	4.2
22年度	3.3
23年度	4.0
24年度	3.9

75%値を記載

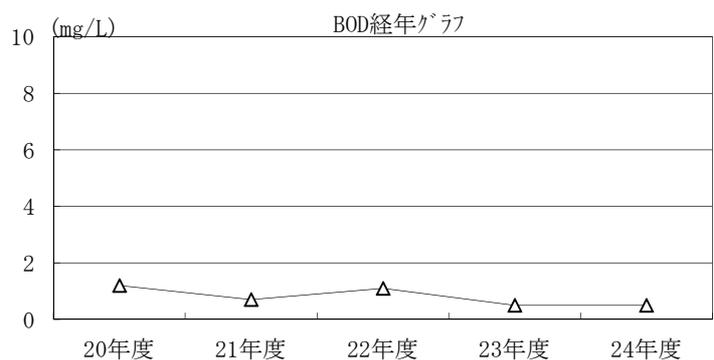


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	二丁越橋
20年度	1.2
21年度	0.7
22年度	1.1
23年度	0.5
24年度	0.5

75%値を記載

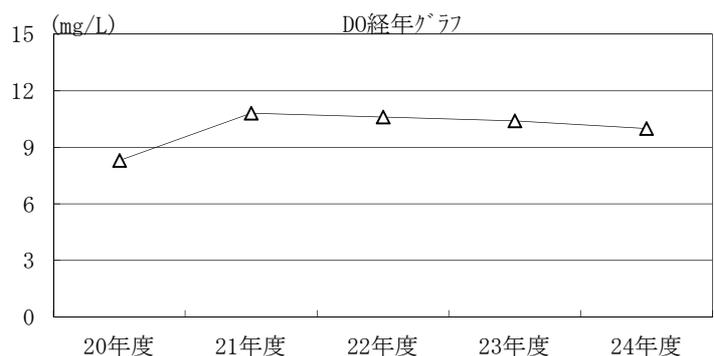


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	二丁越橋
20年度	8.3
21年度	10.8
22年度	10.6
23年度	10.4
24年度	10.0

年間平均値を記載



～与惣川水系経年グラフ～

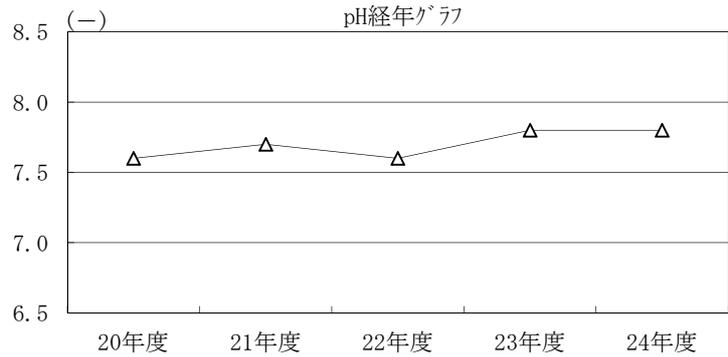
—△— 与惣橋

水素イオン濃度 (pH)

(単位；－)

	与惣橋
20年度	7.6
21年度	7.7
22年度	7.6
23年度	7.8
24年度	7.8

年間平均値を記載

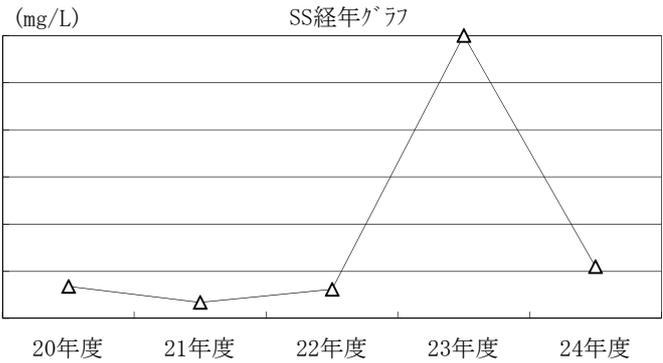


浮遊物質 (SS)

(単位；mg/L)

	与惣橋
20年度	6.8
21年度	3.4
22年度	6.2
23年度	60.0
24年度	11.0

年間平均値を記載

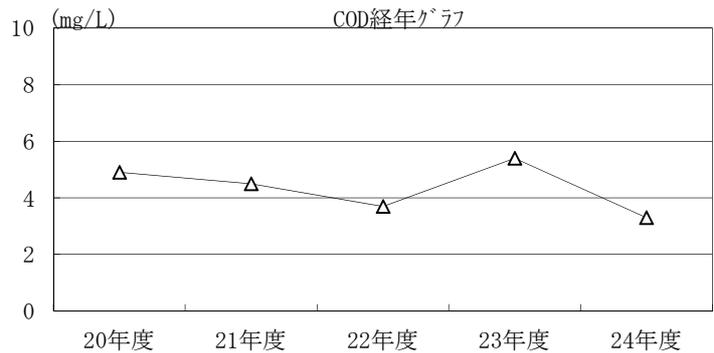


化学的酸素要求量 (COD)

(単位；mg/L)

	与惣橋
20年度	4.9
21年度	4.5
22年度	3.7
23年度	5.4
24年度	3.3

75%値を記載

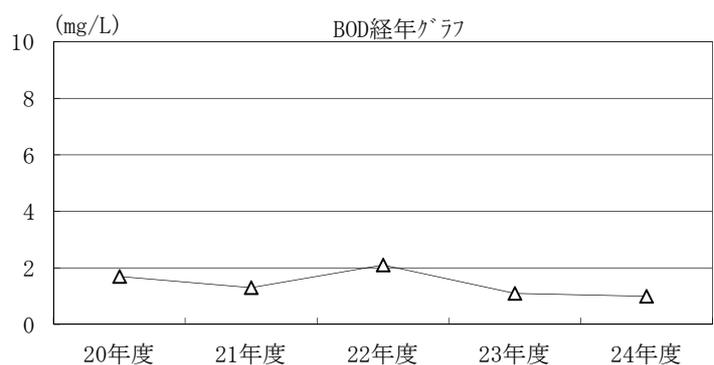


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位；mg/L)

	与惣橋
20年度	1.7
21年度	1.3
22年度	2.1
23年度	1.1
24年度	1.0

75%値を記載

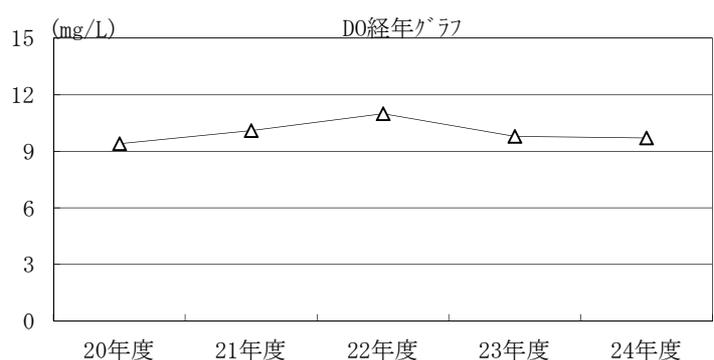


溶存酸素量 (DO)

(単位；mg/L)

	与惣橋
20年度	9.4
21年度	10.1
22年度	11.0
23年度	9.8
24年度	9.7

年間平均値を記載



～牛淵川水系経年グラフ～

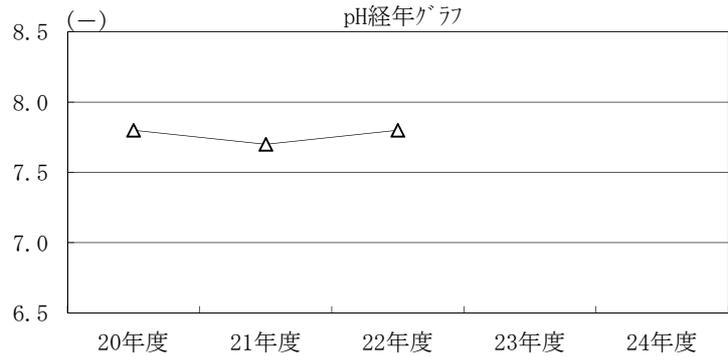
—△— 船渡橋（鹿島橋）

平成21年度より船渡橋から鹿島橋に調査地点の変更、データは静岡県公共用水域及び地下水の水質測定結果より
水素イオン濃度（pH）

（単位；－）

	船渡橋（鹿島橋）
20年度	7.8
21年度	7.7
22年度	7.8
23年度	
24年度	

年間平均値を記載

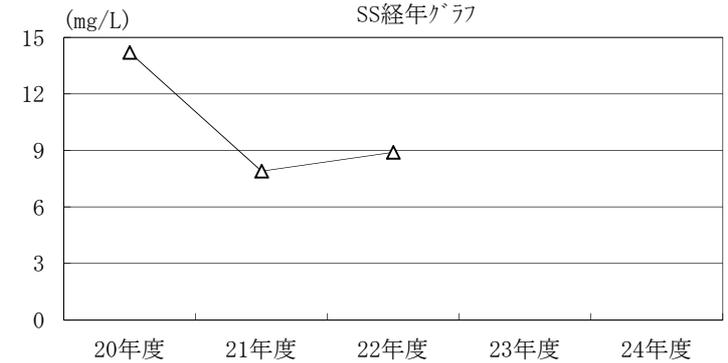


浮遊物質（SS）

（単位；mg/L）

	船渡橋（鹿島橋）
20年度	14.2
21年度	7.9
22年度	8.9
23年度	
24年度	

年間平均値を記載



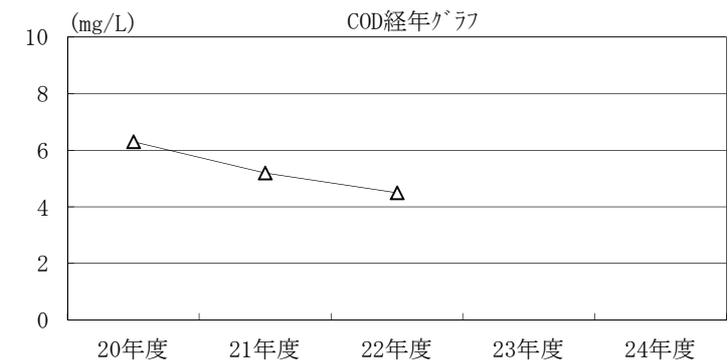
化学的酸素要求量（COD）

（単位；mg/L）

	船渡橋（鹿島橋）
20年度	6.3
21年度	5.2
22年度	4.5
23年度	
24年度	

（年1回）
（年1回）

75%値を記載

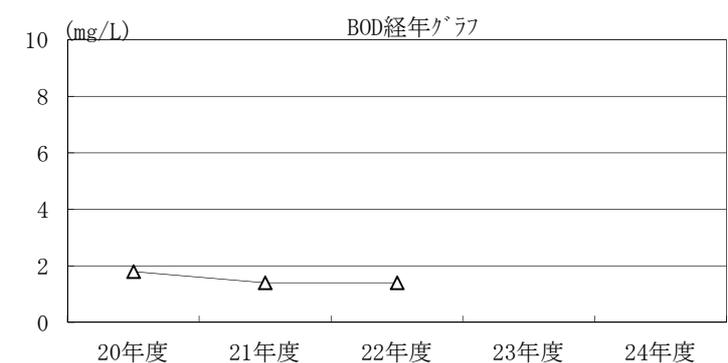


生物化学的酸素要求量（BOD）

（単位；mg/L）

	船渡橋（鹿島橋）
20年度	1.8
21年度	1.4
22年度	1.4
23年度	
24年度	

75%値を記載

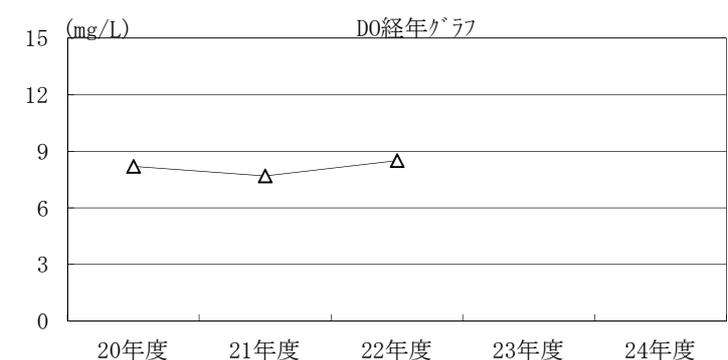


溶存酸素量（DO）

（単位；mg/L）

	船渡橋（鹿島橋）
20年度	8.2
21年度	7.7
22年度	8.5
23年度	
24年度	

年間平均値を記載



※船渡橋（鹿島橋）は平成23年度より廃止

～新田川水系経年グラフ～

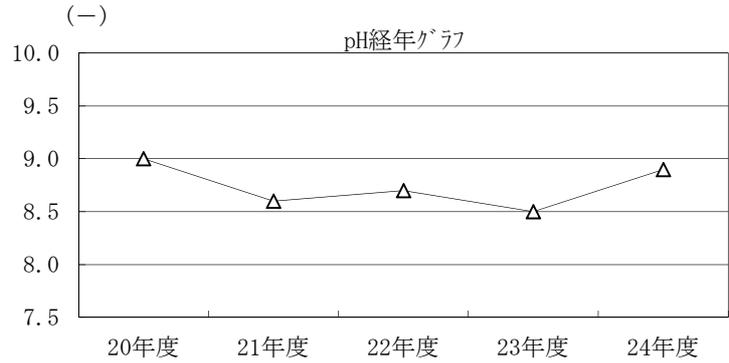
—△— 新田川下流

水素イオン濃度 (pH)

(単位 ; -)

	新田川下流
20年度	9.0
21年度	8.6
22年度	8.7
23年度	8.5
24年度	8.9

年間平均値を記載

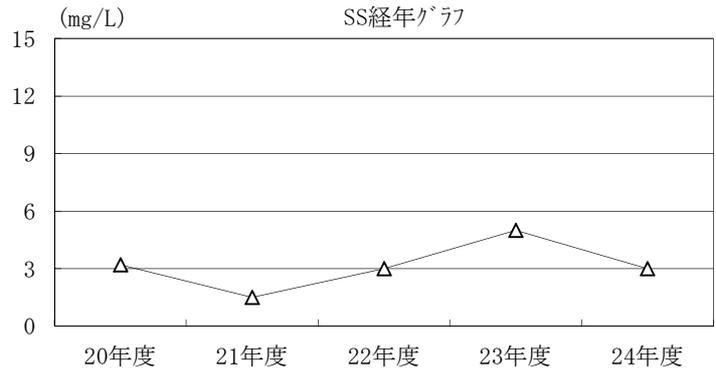


浮遊物質 (SS)

(単位 ; mg/L)

	新田川下流
20年度	3.2
21年度	1.5
22年度	3.0
23年度	5.0
24年度	3.0

年間平均値を記載

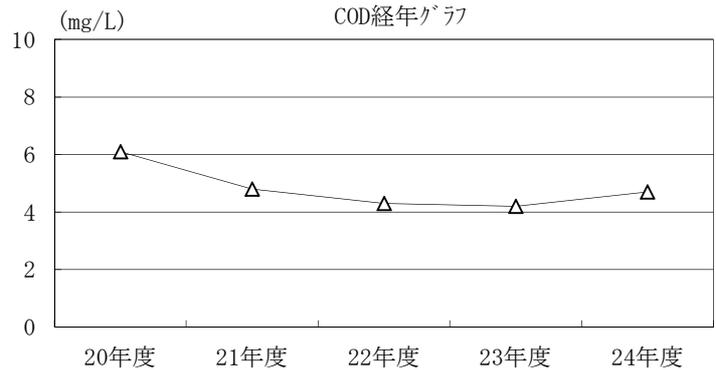


化学的酸素要求量 (COD)

(単位 ; mg/L)

	新田川下流
20年度	6.1
21年度	4.8
22年度	4.3
23年度	4.2
24年度	4.7

75%値を記載

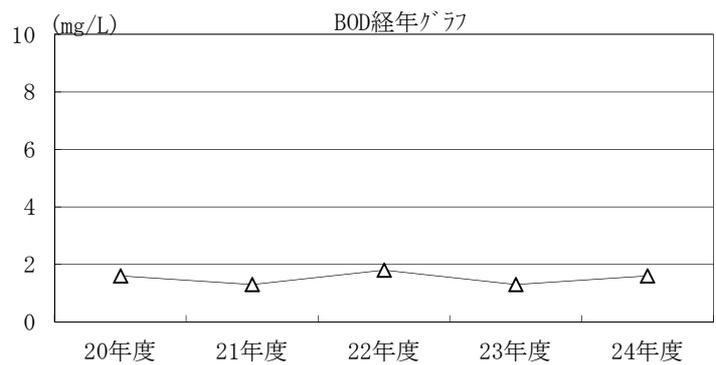


生物化学的酸素要求量 (BOD)

(単位 ; mg/L)

	新田川下流
20年度	1.6
21年度	1.3
22年度	1.8
23年度	1.3
24年度	1.6

75%値を記載

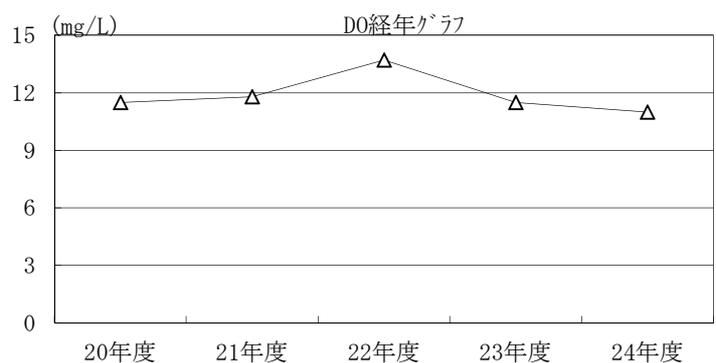


溶存酸素量 (DO)

(単位 ; mg/L)

	新田川下流
20年度	11.5
21年度	11.8
22年度	13.7
23年度	11.5
24年度	11.0

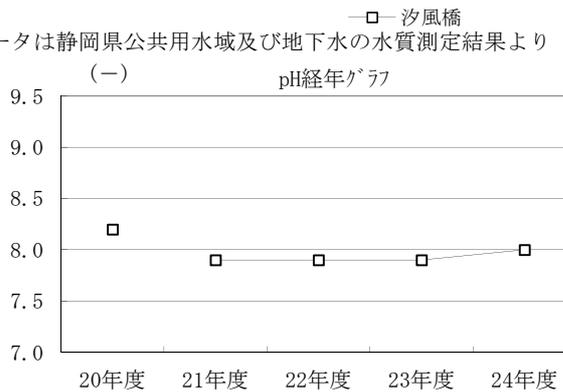
年間平均値を記載



～菊川水系経年グラフ～

平成21年度より菊川橋から汐風橋に調査地点の変更、データは静岡県公共用水域及び地下水の水質測定結果より
水素イオン濃度 (pH) (単位; -)

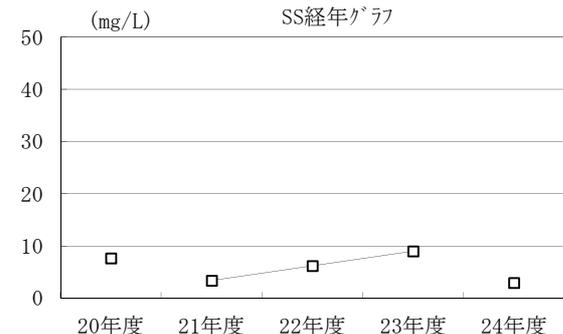
	汐風橋
20年度	8.2
21年度	7.9
22年度	7.9
23年度	7.9
24年度	8.0



浮遊物質 (SS) (単位; mg/L)

	汐風橋
20年度	7.7
21年度	3.4
22年度	6.2
23年度	9.0
24年度	3.0

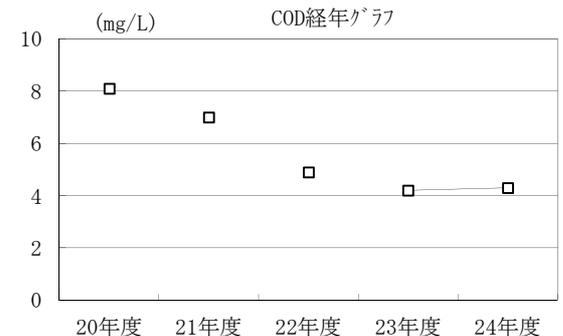
年間平均値を記載。



化学的酸素要求量 (COD) (単位; mg/L)

	汐風橋
20年度	8.1
21年度	7.0
22年度	4.9
23年度	4.2
24年度	4.3

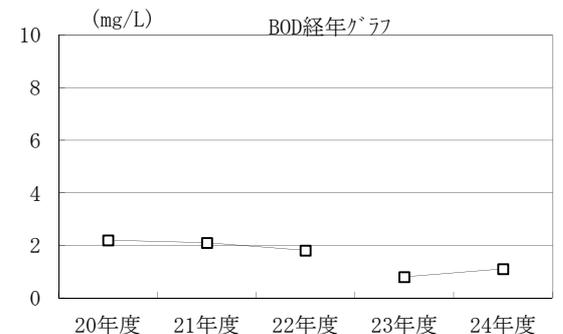
75%値を記載。
調査無し



生物化学的酸素要求量 (BOD) (単位; mg/L)

	汐風橋
20年度	2.2
21年度	2.1
22年度	1.8
23年度	0.8
24年度	1.1

75%値を記載。



溶存酸素量 (DO) (単位; mg/L)

	汐風橋
20年度	8.5
21年度	8.7
22年度	8.8
23年度	8.7
24年度	8.8

年間平均値を記載。



2 富栄養化項目 (T-N、N03+N02-2、K-N、T-P)

窒素 (T-N) 及び磷 (T-P) については、現在河川について環境基準はありませんが、生活排水や農用地で使用する肥料による汚染を評価する目的で、掛川区域11河川、大須賀区域8河川、大東区域7河川において調査しています。

(1) 掛川区域

窒素は、原野谷川及び倉真川が比較的低く、逆川及び上小笠川がやや高い傾向にあります。

磷は、原野谷川、垂木川、満水川が高い傾向にあります。

水系による違いはありますが、これらの負荷源は生活排水及び農用地からの排水又は伏流水と考えられます。

(単位：mg/L)

項目	調査地点	原野谷川			垂木川	逆川		倉真川			満水川	上小笠川
		原谷橋	権現橋	栃原橋	善光寺橋	逆川橋	八幡橋	山崎橋	大池橋	落合橋	第一満水橋	田島橋
全窒素 T-N	H20	1.53	2.22		3.13	4.43	3.08		3.92		3.11	3.82
	H21	1.58	2.36		3.11	3.05	3.28	1.46	2.52		2.46	3.68
	H22	1.32	2.48		2.90	3.04	3.78	1.22	2.49		2.26	3.25
	H23	1.28	2.03	0.58	3.43	2.63	3.86	1.17	2.29	1.04	1.94	4.72
	H24	1.20	2.00	0.77	2.50	2.90	3.30	1.3	1.90	1.20	2.30	3.00
全磷 T-P	H20	0.03	0.03		0.23	0.08	0.22		0.25		0.29	0.10
	H21	0.03	0.02		0.20	0.05	0.19	0.05	0.20		0.27	0.13
	H22	0.03	0.02		0.11	0.24	0.06	0.06	0.25		0.44	0.17
	H23	0.04	0.02	0.01	0.31	0.09	0.29	0.07	0.23	0.03	0.19	0.12
	H24	0.35	0.02	0.01	0.21	0.07	0.20	0.06	0.15	0.03	0.28	0.08
亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素 N02-N+N03-N	H20	1.32	2.06		2.30	3.92	2.21		2.83		2.48	3.35
	H21	1.20	2.07		1.85	2.52	2.24	1.11	1.57		1.97	3.13
	H22	0.88	1.96		1.57	2.25	2.01	0.84	1.30		1.72	2.79
	H23	1.10	1.70	0.50	3.30		2.70	0.90		0.80		
	H24	1.11	1.74	0.51	3.33	2.99	2.73	0.92	2.85	0.88	3.00	2.66
ケルダール窒素 K-N	H20	0.21	0.16		0.84	0.52	0.87		1.09		0.64	0.47
	H21	0.35	0.26		1.23	0.51	0.87	0.33	0.92		0.46	0.53
	H22	0.39	0.48		1.28	0.74	1.72	0.33	1.14		0.49	0.41
	H23	0.27	0.16	0.12	1.19	0.37	1.63	0.83	0.75	0.12	0.41	0.37
	H24	0.42	0.12	<0.1	3.00	0.73	4.46	0.22	1.60	<0.1	0.72	0.27

※ 環境基準：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 10mg/L \geq

※ <は、定量限界未満を表す。

※H23年度より栃原橋、落合橋を追加

(2) 大須賀区域

窒素は、開川自転車道下で年間を通じて高くなっています。
 また、新川橋、西大谷川調練橋上流についてもやや高い傾向にあります。その他の調査地点は低く、1～3 mg/L程度です。燐は開川自転車道下及び東大谷川橋の2地点が高い傾向です。
 これらの河川は、調査地点上流側の事業所排水による影響が大きいと考えられます。

(単位：mg/L)

調査地点 項目		新川	下紙川	弁財天川	坊主渕川	大溝川	開川	西大谷川	東大谷川
		新川橋	下紙川 弁財天川 合流点	今沢橋	北東側橋	水門	自転車道 下	調練橋	東大谷川橋
全窒素 T-N	H20	4.91	3.26	2.11	2.22	2.11	19.50	4.68	2.84
	H21	5.22	2.74	2.20	2.33	2.22	18.90	3.67	2.90
	H22	4.36	2.83	2.30	1.86	1.90	6.77	2.95	2.48
	H23	6.68	3.37	2.42	2.61	2.59	16.00	4.18	3.35
	H24	4.20	2.50	2.40	1.60	2.10	16.00	3.50	2.40
全燐 T-P	H20	0.26	0.16	0.20	0.12	0.18	0.74	0.13	0.93
	H21	0.29	0.15	0.17	0.09	0.15	0.43	0.11	0.84
	H22	0.14	0.13	0.15	0.12	0.23	0.33	0.22	0.48
	H23	0.14	0.13	0.13	0.13	0.17	0.65	0.10	1.00
	H24	0.21	0.13	0.17	0.08	0.25	0.65	0.19	0.65
亜硝酸性窒素及び 硝酸性窒素 N02-N+N03-N	H20	3.90	2.81	1.54	1.74	1.60	1.28	4.06	2.03
	H21	3.36	2.14	1.34	1.93	1.54	2.23	3.30	2.22
	H22	2.50	1.63	1.27	1.36	1.19	0.83	2.53	2.00
	H23			0.30	1.90		1.20		1.90
	H24	4.83	2.54	0.39	1.94	0.93	1.23	4.83	1.95
ケルダール窒素 K-N	H20	1.02	0.45	0.57	0.48	0.51	18.21	0.62	0.71
	H21	1.82	0.58	0.83	0.38	0.65	16.60	0.35	0.66
	H22	1.81	1.08	0.99	0.45	0.66	5.88	0.37	0.44
	H23	1.13	0.43	0.42	0.36	0.75	12.89	0.27	0.62
	H24	1.63	0.54	0.21	0.51	1.35	27.50	0.38	0.64

※ 環境基準：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 10mg/L≧

※ <は、定量限界未満を表す。

(3) 大東区域

窒素は、竜今寺川が低くなっています。他の調査地点は概ね1～3mg/L程度であり、通年で大きな変化は見られません。磷は榎田橋、亀惣川橋、汐風橋がやや高い状態です。他の調査地点は低く、年間を通じて大きな変化は見られません。

(単位：mg/L)

調査地点 項目		竜今寺川	佐束川	亀惣川	下小笠川	与惣川	新田川	牛淵川	菊川	高松川
		竜今寺1号橋	榎田橋	亀惣川橋	東大坂橋	与惣橋	新田川菊川合流点	船渡橋(H21～鹿島橋)	菊川橋(H21～国安橋)	汐風橋
全窒素 T-N	H20	0.84	1.94	2.07	1.11	1.29	1.09	4.35	2.48	6.51
	H21	1.05	1.88	1.93	1.07	1.65	1.23	3.05	2.00	8.18
	H22	1.01	1.99	1.87	0.95	1.24	1.31	4.70	2.25	4.54
	H23	0.89	2.91	2.19		1.86	1.05			3.19
	H24	0.78	1.40	1.80		1.20	0.97			3.00
全磷 T-P	H20	0.08	0.14	0.26	0.06	0.09	0.11	0.25	0.13	1.36
	H21	0.08	0.12	0.22	0.04	0.12	0.10	0.12	<0.01	0.21
	H22	0.09	0.13	0.29	0.05	0.09	0.12	0.13	0.09	0.18
	H23	0.07	0.20	0.20		0.11	0.10			0.20
	H24	0.08	0.14	0.17		0.08	0.09			0.19
亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素 N02-N+N03-N	H20	0.57	1.60	1.65	0.95	0.93	0.81	3.72	2.16	5.24
	H21	0.67	1.43	1.32	0.84	1.18	0.86	2.63	1.50	4.22
	H22	0.68	1.46	1.12	0.70	0.70	0.91	4.45	2.17	3.05
	H23	0.70								
	H24	0.78	2.18	2.48		2.17	0.52			2.78
ケルダール窒素 K-N	H20	0.29	0.45	0.58	0.27	0.49	0.43	0.90	0.42	1.85
	H21	0.36	0.42	0.58	0.21	0.44	0.34			3.91
	H22	0.29	0.48	0.70	0.21	0.49	0.36			1.44
	H23	0.25	0.65	0.47		0.54	0.31			0.81
	H24	0.32	1.07	0.36		0.94	0.28			1.13

※ 環境基準：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 10mg/L≧

※ <は、定量限界未満を表す。

3 金属関係項目（亜鉛、銅、クロム、溶解性マンガン）

全亜鉛、銅、クロム、溶解性マンガンについては、亜鉛を除き現在河川について環境基準はありません。工場系排水の影響を把握する目的で、年1回濁水期に、掛川区域7地点（原谷橋・権現橋・善光寺橋・八幡橋・山崎橋、落合橋、枋原橋）、大須賀区域4地点（今沢橋・坊主淵橋・開川自転車道下、東大谷川橋）、大東区域1地点（竜今寺橋）の計12地点で調査しています。

調査結果は亜鉛が、全地点微量検出しています。溶解性マンガンは善光寺橋、八幡橋と大須賀区域及び大東区域の5河川において微量検出しています。銅は、開川自転車道下において微量検出しています。クロムについては検出していません。

(単位：mg/L)

項目	調査地点 年度	原野谷川			垂木川	逆川	倉真川		弁財天川	坊主淵川	開川	東大谷川	竜今寺川	牛淵川	菊川
		原谷橋	権現橋	枋原橋	善光寺橋	八幡橋	山崎橋	落合橋	今沢橋	北東側橋	自転車道下	東大谷川橋	竜今寺1号橋	船渡橋	菊川橋
亜鉛(Zn) (全亜鉛)	H20		<0.003		0.006	0.013			0.022	0.026	0.016	0.024	0.004	0.008	0.005
	H21	<0.004	<0.004		0.008	0.017	<0.004		0.004	<0.004	0.008	0.017	0.009	0.005	0.007
	H22	0.014	0.018		0.036	0.030	0.007		<0.004	0.006	0.013	0.020	0.010	0.007	0.006
	H23	0.003	0.002	<0.001	0.013	0.033	0.010	<0.001	0.003	0.005	0.023	0.042	0.003		
	H24	0.001	0.001	0.004	0.01	0.018	0.002	0.001	0.012	0.007	0.035	0.016	0.003		
銅(Cu)	H20		<0.1		<0.1	<0.1			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	H21	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
	H22	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
	H23	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01		
	H24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01		
溶解性マンガン (S-Mn)	H20		<0.1		0.2	<0.1			0.2	0.1	0.1	<0.1	0.6	<0.1	<0.1
	H21	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
	H22	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
	H23	<0.02	<0.02	<0.02	0.25	0.10	<0.02	<0.02	0.04	0.14	0.12	0.03	0.30		
	H24	<0.02	<0.02	<0.02	0.15	0.06	<0.02	<0.02	0.17	0.14	0.13	0.08	0.34		
クロム (Cr)	H20		<0.05		<0.05	<0.05				<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	H21	<0.02	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	H22	<0.02	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	H23	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
	H24	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		

※ <は、定量限界未満を表す。

※H21年度より牛淵川、菊川は静岡県公共用水域及び地下水水質測定結果より（亜鉛は全亜鉛に変更）

H21年度より船渡橋は下流の鹿島橋、菊川橋は上流の国安橋に変更

※H23年度より枋原橋、落合橋を追加し、船渡橋、菊川橋を廃止

4 人の健康の保護に関する項目（総水銀、鉛、カドミウム、全シアン、砒素、トリクロロエチレン等）

総水銀、鉛、カドミウム、全シアン、砒素、トリクロロエチレン等の健康項目については、年1回湧水期に、掛川区域7地点(原谷橋、権現橋、善光寺橋、八幡橋、山崎橋、落合橋、栃原橋)大須賀区域4地点(今沢橋、坊主淵橋、開川自転車道下、東大谷橋)、大東区域1地点(竜今寺1号橋)において調査を実施しています。調査結果は、全て検出しておらず、環境基準を満足しています。

(単位：mg/L)

項目	調査地点	原野谷川			垂木川	逆川	倉真川	
		原谷橋	権現橋	栃原橋	善光寺橋	八幡橋	山崎橋	落合橋
総水銀 (Hg) 環境基準 ≤0.0005	H20		<0.0005		<0.0005	<0.0005		
	H21	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H22	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
鉛 (Pb) 環境基準 ≤0.01	H20		<0.005		<0.005	<0.005		
	H21	<0.005	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	
	H22	<0.005	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	
	H23	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	H24	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
カドミウム (Cd) 環境基準 ≤0.01	H20		<0.001		<0.001	<0.001		
	H21	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	
	H22	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	
	H23	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	H24	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン (CN) 環境基準 検出されない	H20		<0.1		<0.1	<0.1		
	H21	<0.1	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	
	H22	<0.1	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	
	H23	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	H24	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
砒素 (As) 環境基準 ≤0.01	H20		<0.005		<0.005	<0.005		
	H21	<0.005	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	
	H22	<0.005	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	
	H23	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	H24	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
トリクロロエチレン (TCE) 環境基準 ≤0.03	H20		<0.002		<0.002	<0.002		
	H21	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H22	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン (PCE) 環境基準 ≤0.01	H20		<0.0005		<0.0005	<0.0005		
	H21	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H22	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

※ <は、定量限界未満を表す。

(単位: mg/L)

項 目	調査地点	弁財天川	坊主渕川	開川	東大谷川	竜今寺川	牛淵川	菊川
		今沢橋	北東側橋	自転車道下	東大谷川橋	竜今寺1号橋	船渡橋	菊川橋
総水銀 (Hg) 環境基準 ≦0.0005	H20	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H21	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H22	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
鉛 (Pb) 環境基準 ≦0.01	H20	<0.005	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H21	<0.005	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H22	<0.005	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H23	<0.005	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
	H24	<0.005	<0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
カドミウム (Cd) 環境基準 ≦0.01	H20	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H21	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H22	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H23	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		
	H24	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		
全シアン (CN) 環境基準 検出されない ※ND=検出されず	H20	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	H21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	ND	ND
	H22	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	ND	ND
	H23	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	H24	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
砒素 (As) 環境基準 ≦0.01	H20	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	H21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	H22	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	H23	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	H24	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
トリクロロエチレン(TCE) 環境基準 ≦0.03	H20	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H21	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H22	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
テトラクロロエチレン(PCE) 環境基準 ≦0.01	H20	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H21	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H22	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		

※ <は、定量限界未満を表す。

※ H21年度より牛淵川、菊川は静岡県公共用水域及び地下水水質測定結果より引用
H21年度より船渡橋は下流の鹿島橋、菊川橋は上流の国安橋に変更

(単位：mg/L)

項目	調査地点	原野谷川			垂木川	逆川	倉真川	
		原谷橋	権現橋	栢原橋	善光寺橋	八幡橋	山崎橋	落合橋
四塩化炭素 (CC14) 環境基準 ≦0.002	H20		<0.0002		<0.0002	<0.0002		
	H21	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	H22	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	H23	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H24	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,1-トリクロロエタン (MC) 環境基準 ≦1	H19		<0.0005		<0.0005	<0.0005		
	H21	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H22	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン (112トリクロ) 環境基準 ≦0.006	H20		<0.0006		<0.0006	<0.0006		
	H21	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	H22	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	H23	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H24	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
1,2-ジクロロエタン (12ジクロ) 環境基準 ≦0.004	H19		<0.0004		<0.0004	<0.0004		
	H21	<0.0004	<0.0004		<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	H22	<0.0004	<0.0004		<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	H23	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	H24	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン (11ジクロ) 環境基準 ≦0.02	H20		<0.002		<0.002	<0.002		
	H21	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H22	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン (シス12ジクロ) 環境基準 ≦0.04	H20		<0.004		<0.004	<0.004		
	H21	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	
	H22	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ジクロロメタン(ジクロメ) 環境基準 ≦0.02	H20		<0.002		<0.002	<0.002		
	H21	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H22	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,3-ジクロロプロペン (DD) 環境基準 ≦0.002	H20		<0.0002		<0.0002	<0.0002		
	H21	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	H22	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	H23	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H24	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

※ <は、定量限界未満を表す。

(単位: mg/L)

項目	調査地点	弁財天川	坊主淵川	開川	東大谷川	竜今寺川	牛淵川	菊川
		今沢橋	北東側橋	自転車道下	東大谷川橋	竜今寺1号橋	船渡橋	菊川橋
四塩化炭素 (CC14) 環境基準 ≦0.002	H20	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H21	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H22	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H23	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		
	H24	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		
1, 1, 1-トリクロロエタン (MC) 環境基準 ≦1	H20	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H21	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H22	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	H23	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
	H24	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1, 1, 2-トリクロロエタン (112トリクロ) 環境基準 ≦0.006	H20	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H21	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H22	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H23	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		
	H24	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		
1, 2-ジクロロエタン (12ジクロ) 環境基準 ≦0.004	H20	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	H21	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	H22	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	H23	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004		
	H24	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004		
1, 1-ジクロロエチレン (11ジクロ) 環境基準 ≦0.02	H20	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H21	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H22	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
シス-1, 2-ジクロロエチレン (シス12ジクロ) 環境基準 ≦0.04	H20	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	H21	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	H22	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
ジクロロメタン(ジクロメ) 環境基準 ≦0.02	H20	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H21	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H22	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
1, 3-ジクロロプロペン (DD) 環境基準 ≦0.002	H20	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H21	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H22	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	H23	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		
	H24	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		

※ <は、定量限界未満を表す。

※ H21年度より牛淵川、菊川は静岡県公共用水域及び地下水水質測定結果より引用
H21年度より船渡橋は下流の鹿島橋、菊川橋は上流の国安橋に変更

(単位：mg/L)

項目	調査地点	原野谷川			垂木川	逆川	倉真川	
		原谷橋	権現橋	栃原橋	善光寺橋	八幡橋	山崎橋	落合橋
チウラム 環境基準 ≤0.006	H20		<0.0006		<0.0006	<0.0006		
	H21	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	H22	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	H23	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H24	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン 環境基準 ≤0.003	H20		<0.0003		<0.0003	<0.0003		
	H21	<0.0003	<0.0003		<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	H22	<0.0003	<0.0003		<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	H23	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	H24	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ 環境基準 ≤0.02	H20		<0.002		<0.002	<0.002		
	H21	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H22	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン 環境基準 ≤0.01	H20		<0.001		<0.001	<0.001		
	H21	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	
	H22	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	
	H23	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H24	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン 環境基準 ≤0.01	H20		<0.002		<0.002	<0.002		
	H21	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H22	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ふっ素 環境基準 ≤0.8	H20		<0.08		<0.08	0.1		
	H21	<0.08	<0.08		0.09	0.12	0.16	
	H22	0.09	<0.08		<0.08	0.09	0.15	
	H23	0.10	0.09	0.11	0.10	0.09	0.12	<0.08
	H24	0.10	0.09	0.11	0.10	0.09	0.12	<0.08
ほう素 環境基準 ≤1	H20		0.08		0.08	0.11		
	H21	0.2	<0.1		0.1	0.1	0.1	
	H22	0.2	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	
	H23	0.1	<0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	H24	0.1	<0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

※ <は、定量限界未満を表す。

(単位：mg/L)

項目		調査地点						
		弁財天川 今沢橋	坊主淵川 北東側橋	開川 自転車道下	東大谷川 東大谷川橋	竜今寺川 竜今寺1号橋	牛淵川 船渡橋	菊川 菊川橋
チウラム 環境基準 ≤0.006	H20	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H21	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H22	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	H23	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		
	H24	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		
シマジン 環境基準 ≤0.003	H20	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	H21	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	H22	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	H23	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		
	H24	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		
チオベンカルブ 環境基準 ≤0.02	H20	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H21	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H22	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
ベンゼン 環境基準 ≤0.01	H20	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H21	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H22	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	H23	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
	H24	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
セレン 環境基準 ≤0.01	H20	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H21	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H22	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	H23	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
	H24	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
ふっ素 環境基準 ≤0.8	H20	0.17	0.09	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	0.11
	H21	<0.08	0.09	0.11	0.24	0.09	0.16	0.26
	H22	<0.08	<0.08	<0.08	0.35	0.4	0.12	0.36
	H23	0.89	0.12	0.09	0.94	0.11		
	H24	0.89	0.12	0.09	0.94	0.11		
ほう素 環境基準 ≤1	H20	0.83	<0.05	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.15
	H21	1.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.53	1.2
	H22	3.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	1.5
	H23	4.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	H24	4.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		

※ <は、定量限界未満を表す。

※ H21年度より牛淵川、菊川は静岡県公共用水域及び地下水水質測定結果より引用
H21年度より船渡橋は下流の鹿島橋、菊川橋は上流の国安橋に変更

5 農業用ため池及び河川

調査を実施したため池等は、全体的に硫酸イオン、硝酸イオン及び電気伝導率等の無機成分が高く、茶畑への施肥による汚染が大きいことを示しています。水素イオン濃度が安定している池は、藻類の増殖による炭酸同化作用によってバランスがとれているものと考えられます。なお、海老名池については陰イオン成分の流入により水素イオン濃度が低くなりすぎたため、藻類を含む生物が生息できない環境にあると考えられます。

(単位：D0、S04、N03、N03-Nはmg/L、ECはmS/m)

項目	調査地点	東山	日坂		栗本		西郷	桜木	上内田	東山口	東大谷
	年度	子の神橋	大向橋	日坂橋	梅の谷池	谷川池	五明古池	飛鳥新池	南沢池	海老名池	東大谷池
水素イオン濃度(pH) 農業用水基準 6.0~7.5	H20	7.9	7.8		7.4	7.3	8.0	8.1	7.8	5.8	8.1
	H21	7.8	7.7		7.3	7.3	7.7	8.1	7.2	5.2	6.8
	H22	7.8	7.6		7.2	7.3	7.8	8.4	7.0	5.0	7.5
	H23	8.2	8.0	8.6	7.7	8.5	8.3	8.6	7.8	5.5	9.0
	H24	7.9	7.8		7.4		8.2	8.4	7.5	5.2	8.1
溶存酸素(D0) 農業用水基準 5以上	H20	9.6	9.9		9.7	9.5	11.5	11.0	9.9	8.6	13.4
	H21	11.1	10.9		10.0	11.2	11.8	11.6	9.6	10.2	11.3
	H22	10.4	10.2		10.0	10.7	11.0	12.7	7.9	9.6	10.8
	H23	10.3	10.9	12.4	9.5	10.6	13.2	11.8	9.0	8.8	13.2
	H24	10.0	9.4		10.0		12.0	12.0	7.1	9.5	12.0
生物化学的酸素 要求量(BOD)	H20	0.5	0.5		1.7	1.5	5.2	2.5	4.0	0.6	2.1
	H21	<0.5	0.9		1.4	2.3	4.9	2.6	0.7	0.8	2.4
	H22	0.5	0.7		1.8	2.2	2.3	3.8	0.8	0.8	2.4
	H23	0.5	0.6	0.7	1.8	13.5	4.3	4.1	1.1	0.5	3.2
	H24	<0.5	1.5		1.8		1.7	2.7	0.6	0.5	1.8
硫酸イオン(S04)	H20	80.0	109.0		32.7	27.0	130.0	94.7	170.0	72.0	26.7
	H21	102.0	128.0		39.9	27.9	143.0	120.0	202.0	83.8	25.9
	H22	79.0	94.0		31.5	21.4	119.0	78.0	158.0	53.7	21.6
	H23	82.0	98.0	193.0	35.0	21.0	123.0	95.7	150.0	60.0	24.3
	H24	81.0	97.0		33.0		107.0	86.0	140.0	55.0	24.0
硝酸イオン(N03)	H20	41.7	29.3		6.1	5.6	19.0	23.2	24.3	32.7	18.5
	H21	38.9	25.0		10.4	7.1	31.3	33.3	33.7	32.6	20.8
	H22	38.4	24.1		6.0	4.4	33.7	29.6	36.3	29.7	14.2
	H23	32.3	17.3	8.8	4.7	1.8	22.3	21.7	28.3	26.0	12.1
	H24	39.0	21.0		8.0		36.0	35.0	28.0	30.0	14.0
電気伝導率(EC) 農業用水基準 30以下	H20	33.7	40.3		15.7	12.0	54.3	41.3	55.0	25.3	18.3
	H21	33.0	38.3		16.7	12.0	57.0	44.7	56.0	24.3	17.0
	H22	32.7	35.3		14.3	9.7	51.7	40.3	52.0	20.0	13.3
	H23	34.0	39.7	67.0	16.0	10.1	55.7	41.7	54.7	22.0	16.7
	H24	35.0	40.0		16.0		53.0	42.0	54.0	22.0	16.0

※ 農業用水基準：水稲の正常な生育のために望ましいかんがい用水の指標

※ 網掛け部分は、農業用水基準を超えている測点

※ 測定頻度：H10年度－4回、H11年度－2回、H12年度以降－3回